

平成 30 年度
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

平成 30 年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業報告

社会福祉法人摂津宥和会は、平成 27 年 4 月に（旧）宥和会と（旧）摂津市社会福祉事業団が合併して設立され、「障がいのある人もない人も、高齢者も子どもも、住み慣れた地域で共に支えあい生活し、一人ひとりが心に描く幸せを大切に、安心して適切な福祉サービスの提供と社会づくりを目指す」ことを法人の理念としました。合併により市内各所において乳幼児期の児童発達支援から就労支援や成壮年期における施設入所や共同生活援助サービス事業など幅広く事業展開しています。

今年度は、自然災害にみまわれた年であり、平成 30 年 6 月 18 日午前 7 時 58 分に発生した大阪北部地震では、観測史上初めて大阪府で震度 6 以上を記録しました。当法人においては、関係機関とも連携を取りながら、まずは利用者及び家族の安否確認を行い、続いて職員の安否確認を行いました。利用者や職員への人的被害はありませんでしたが、建物内外に大きな被害が発生しました。

また、平成 30 年 9 月 4 日に、大阪府に最も接近した台風 21 号は、25 年ぶりに非常に強い勢力のまま日本列島に上陸した台風となり、各地で記録的な暴風が吹き荒れました。事前に大阪府下全域に暴風警報が発令されていたため、通所及び利用施設については休所とし、居住施設については、職員の勤務体制を応急的に整えるなど、利用者の安全確保に努めました。また、暴風の影響で、建物内外に大きな被害が発生しました。

これらの教訓を活かし、今後発生が予想されている「南海トラフ地震」や、巨大台風の被害にも対応できるよう、今年度は法人内で「災害対応マニュアル」の整備を進めてきました。

当法人が指定管理者として運営している、「摂津市立みきの路」、「摂津市立ひびきはばたき園」、「摂津市立身体障害者・老人福祉センター」、「摂津市立児童発達支援センター」及び「摂津市立第 1 児童センター」については、今年度が 5 年間の指定管理期間の最終年度となりました。この 5 年間の取り組みを行政からも評価をいただき、担当課と協議の結果、競争によることなく特命で、来年度からも引き続き指定管理者として運営を任せただけなこととなりました。

また、今年度は、社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取り組み」の一環として、新たに「こども食堂」の実施について準備を進めてきました。来年度から、月 1 回、別府コミュニティセンターで実施していく予定です。

1	事務局	・ ・ ・ ・ ・	1
2	地域生活支援センター		
	Ⅰ 障害者支援施設「摂津市立みきの路	・ ・ ・ ・ ・	13
	Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）	・ ・ ・ ・ ・	28
3	摂津市立児童発達支援センター		
	Ⅰ 児童発達支援センター「つくし園」	・ ・ ・ ・ ・	39
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」	・ ・ ・ ・ ・	52
4	多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	・ ・ ・ ・ ・	58
5	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	・ ・ ・ ・ ・	82
6	摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」	・ ・ ・ ・ ・	90
7	摂津市立第1児童センター	・ ・ ・ ・ ・	101
8	摂津市障害者総合支援センター		
	Ⅰ 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」	・ ・ ・ ・ ・	110
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	・ ・ ・ ・ ・	115

1 事務局

1 概況

平成 29 年 4 月の改正社会福祉法の施行に伴い、全ての社会福祉法人は「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取り組みを実施する責務」を求められています。当法人においても、これらをより具体的に実践していけるよう、法人運営を進めています。

今年度は、「地域における公益的な取り組み」の一環として、来年度からの「こども食堂」の実施に向けて取り組みました。

また、就職フェアへの参加、広報活動の充実、ハラスメント規程の一部改正等、人材確保・育成・定着に向けた取り組みを積極的に行いました。

2 事業の実施状況

(1) 理事会の開催

回	開催日	出席者	議 案
1	平成 30 年 5 月 28 日	理事 6 名 監事 2 名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 平成 29 年度事業報告承認 4 平成 29 年度決算承認 5 平成 30 年度第 1 回定時評議員会の開催について
2	平成 31 年 3 月 28 日	理事 6 名 監事 2 名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 補正予算（第 1 号～第 3 号）専決処分 4 職員就業規則の一部を改正する規則制定 5 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 6 指定管理者基本協定書締結 7 指定管理者年度協定書締結 8 新規事業「こども食堂」実施 9 経理規則の一部を改正する規則制定 10 平成 31 年度事業計画承認 11 平成 31 年度収支予算承認 12 評議員選任候補者推薦 13 平成 30 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の開催

(2) 評議員会の開催

回	開催日	出席者	議 案
1	平成 30 年 6 月 25 日	評議員 5 名 理事 4 名 監事 2 名	1 平成 30 年度第 1 回理事会の議事 2 平成 29 年度決算承認

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

回	開催日	出席者	議 案
1	平成 31 年 3 月 28 日	評議員選任・解任委員 3 名 理事 2 名	1 評議員選任の件

(4) 監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
平成 30 年 5 月 21 日	監事 2 名	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度計算書類及び財産目録

(5) その他の監査

実施日	内 容	出席職員
平成 31 年 1 月 24 日	平成 30 年度摂津市財政援助団体等監査 ・地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、市が財政的援助を与えている団体等に対する監査	理事長 事務局長 施設長 施設長代理 事務局

(6) 施設連絡会の開催

開催日	出席者	主な内容
平成 30 年 4 月 11 日	9 名	各施設の近況報告 平成 30 年度自己申告書の提出について 他
平成 30 年 4 月 25 日	9 名	各施設の近況報告 平成 29 年度監事監査の日程について 他
平成 30 年 5 月 16 日	9 名	各施設の近況報告 ハラスメント相談体制の変更について 他
平成 30 年 5 月 30 日	9 名	各施設の近況報告 専門資格取得助成金交付要綱について 他
平成 30 年 6 月 13 日	9 名	各施設の近況報告 平成 29 年度決算について 他

平成 30 年 6 月 27 日	9 名	各施設の近況報告 大阪北部地震の被害状況について 他
平成 30 年 7 月 11 日	9 名	各施設の近況報告 平成 30 年度パワーアップ事業について 他
平成 30 年 7 月 25 日	9 名	各施設の近況報告 府社会福祉協議会の第三者評価事業について 他
平成 30 年 8 月 15 日	9 名	各施設の近況報告 交通安全への取り組みについて 他
平成 30 年 8 月 29 日	9 名	各施設の近況報告 平成 31 年度予算要求書の提出について 他
平成 30 年 9 月 12 日	9 名	各施設の近況報告 法人運動会について 他
平成 30 年 9 月 26 日	9 名	各施設の近況報告 平成 31 年度予算要求について 他
平成 30 年 10 月 10 日	9 名	各施設の近況報告 平成 30 年度財政援助団体等監査について 他
平成 30 年 10 月 24 日	9 名	各施設の近況報告 「こども食堂」の実施について 他
平成 30 年 11 月 14 日	9 名	各施設の近況報告 来年度からの取引銀行について 他
平成 30 年 11 月 28 日	9 名	各施設の近況報告 来年度からの指定管理者制度について 他
平成 30 年 12 月 12 日	9 名	各施設の近況報告 財政援助団体等監査について 他
平成 30 年 12 月 26 日	9 名	各施設の近況報告 年末年始に向けた注意喚起 他
平成 31 年 1 月 16 日	9 名	各施設の近況報告 指定管理者評価基準について 他
平成 31 年 1 月 30 日	9 名	各施設の近況報告 30 年度決算に向けたスケジュールについて 他
平成 31 年 2 月 13 日	9 名	各施設の近況報告 「こども食堂」の詳細について 他
平成 31 年 2 月 27 日	9 名	各施設の近況報告 働き方改革関連法について 他
平成 31 年 3 月 13 日	9 名	各施設の近況報告 職員説明会の実施について 他
平成 31 年 3 月 27 日	9 名	各施設の近況報告 平成 31 年 4 月 1 日付人事異動について 他

(7) 法人運動会の開催

利用者・家族・ＯＢ・職員参加の「法人運動会」の開催を、平成 30 年 10 月 27 日（土）に予定し、それに向けて準備を進めてきましたが、悪天候のため中止としました。

(8) パワーアップ事業

昨年度より、事業展開や組織のあり方について議論し、法人全体で認識を共有していくことを目的とし、「パワーアップ事業」を実施しています。今年度は、主任級以上の職員に加えて、副主任級のサービス管理責任者も、4 つの部会のいずれかに属し、議論を重ねました。

部会名	主な内容
経営戦略部会	・ 中長期事業計画書（案）の作成を行う ・ 構成メンバー：6 名 ・ 実施日：8/13、8/28、9/26、10/16、11/9、11/29、12/26 1/17、2/19、3/8
サービス向上部会	・ 「こども食堂」実施に向けた準備を行う ・ 構成メンバー：7 名 ・ 実施日：8/3、9/7、10/11、11/19、12/10、1/28、2/28 3/26
人材育成部会	・ 人材育成基本方針（案）を作成し、それに基づき年間の職員研修（案）を作成する。 ・ 構成メンバー：8 名 ・ 実施日：8/30、9/18、10/11、11/13、1/8、2/12、3/12
リスクマネジメント部会	・ 虐待防止及び災害対応マニュアル（案）の作成を行う ・ 構成メンバー：6 名 ・ 実施日：8/7、8/28、9/7、9/19、10/15、10/30、11/15 12/3、1/9、1/23、2/14、2/21、3/6

3 情報公開

(1) 財務諸表等電子開示システム

独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、平成 29 年度計算書類等及び財産目録、現況報告書を公開しました。

(2) 障害福祉サービス等情報公開システム

平成 30 年 4 月より施行された「障害福祉サービス情報公開制度」に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人

の運営する障害福祉サービスの内容について公開しています。

(3) ホームページでの情報公開

法人ホームページにおいて、定款、役員等報酬規程を公開しています。

4 人材確保・育成・定着に向けた取り組み

(1) 人材確保に向けた取り組みについて

① 就職フェアへの参加

実施日	内 容
平成 30 年 7 月 8 日	「2018 摂津市介護のお仕事 福祉就職フェア」 ・主催：摂津市介護保険事業者連絡会 ・場所：摂津市立コミュニティプラザ ・当日参加職員：理事長、事務局長、施設長、事務局
平成 31 年 3 月 9 日	「福祉の就職総合フェア SPRING in OSAKA」 ・主催：大阪府社会福祉協議会 ・場所：インテックス大阪 ・当日参加職員：理事長、事務局長、施設長、支援員 事務局

② 広報活動

- ・法人ホームページに募集要項を掲載し、職員募集を行いました。
- ・第1児童センターにおいて、従来からのホームページに加えて、SNSを利用した情報発信を行いました。

(2) 人材育成への取り組み

① 法人内研修

平成 30 年 6 月 27 日（水）、会計事務の効率化を目的として、施設長及び会計担当者を対象に、「会計担当者勉強会」を実施しました。

② 外部研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講しました。

開催日	内 容	主 催	場 所	参加者
平成 30 年 5 月 25 日	平成 30 年度障がい者総合 支援制度における指定事 業者・施設集団指導	大阪府	枚方市民会館	事務局職員

平成 30 年 6 月 22 日	平成 30 年度大阪府・市町村社会福祉法人・施設等指導監査合同説明会	大阪府	クレオ大阪中央	事務局職員
平成 30 年 10 月 15 日	TKC 社福研創設 20 周年記念特別研修会	TKC 社福研	グランフロント大阪	事務局長 事務局職員
平成 30 年 11 月 30 日	社会福祉施設経営実務セミナー	福祉医療機構	グランキューブ大阪	事務局職員

③ 新規採用職員研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施しました。

実施日	参加者
平成 30 年 4 月 2 日	新規採用職員 4 名
平成 30 年 5 月 1 日	新規採用職員 4 名
平成 30 年 8 月 1 日	新規採用職員 3 名
平成 31 年 1 月 4 日	新規採用職員 1 名

(3) 人材定着に向けた取り組み

○ ハラスメント防止への取り組み

取り組みの強化を図るため、「セクシュアル・ハラスメントの防止に関する規程」及び「パワー・ハラスメントの防止に関する規程」の一部改正を行いました。これまでは、職場ごとの施設長が「相談責任者」施設長代理又はそれに準ずる職員が「相談担当者」という体制でしたが、今回の改正では、法人内で 8 名の「相談員」を任命し、事務局長を委員長とした「防止委員会」を設置しました。防止委員会は、相談員からの報告を受け、関係者への事実関係の聴取を行い、聴取内容に基づき理事長に事実関係を報告し、理事長は問題解決のために必要な措置を講じる仕組みとしました。

また、全職員を対象とした研修を 1 回、施設長と相談員を対象とした研修を 1 回実施しました。

実施日	主な内容	参加人数
平成 30 年 7 月 18 日	セクハラ・パワハラのない職場環境づくりのために 講師：特定社会保険労務士 板東 嘉子 氏 ・職場におけるハラスメントの実態 ・パワハラをめぐる動き ・判例からみたハラスメント	39 名

平成 30 年 9 月 12 日	職場のハラスメント防止についての基本事項と留意事項 講師：大阪府総合労働事務所 相談課 遠藤 壽 氏 ・職場におけるハラスメント相談事例	16 名
---------------------	--	------

② 福利厚生事業

職員健康診断	◎一次検診 ・実施日：平成 30 年 7 月 30 日～8 月 3 日 ◎二次検診 ・実施日：平成 30 年 10 月 10 日、11 日 ◎子宮がん検診 ・実施日：平成 30 年 11 月 13 日、22 日 ◎夜勤従事職員健康診断 ・実施日：平成 31 年 3 月 20 日
大阪民間社会福祉事業 従事者共済会	・一般給付金事業 ・生活サポートサービス 他
福利厚生センター (ソウェルクラブ)	・慶事のお祝い ・健康生活用品給付 他

5 地域における公益的な取り組み

(1) 社会貢献事業

昨年度から引き続き、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置しました。

今年度は、児童養護施設を退所された利用者に対して、グループホームへの転居に向けた支援を行いました。

(2) 「こども食堂」の実施に向けて

法人の設立趣旨や理念に基づき、地域の福祉関係者等と協力し、地域福祉向上の一助となることを目的とし、パワーアップ事業「サービス向上部会」において、来年度からの実施に向けて準備を進めてきました。

6 働き方改革に向けた取り組み

(1) 内部研修の実施

平成 31 年 4 月 1 日からの「働き方改革関連法」施行に向けて、施設長及び施設長代理を対象とし、内部研修を実施しました。

実施日	主な内容
平成 30 年 11 月 28 日	「働き方改革関連法の概要について ～改正の背景及び重要ポイント～」 ・講師：特定社会保険労務士 板東 嘉子 氏 ・働き方改革の背景及び概要について ①労働時間法制の見直し ②雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

(2) 職員説明会の実施

来年度からの、法人の働き方改革への取り組みについて、全職員を対象とした職員説明会を実施しました。

実施日	出席者	場 所
平成 31 年 3 月 12 日	正職員 19 名	ふれあいの里
平成 31 年 3 月 14 日	正職員 26 名	みきの路
平成 31 年 3 月 15 日	正職員 11 名 契約職員 13 名	みきの路
平成 31 年 3 月 19 日	契約職員 1 名 嘱託職員 18 名	みきの路
平成 31 年 3 月 20 日	正職員 1 名 契約職員 8 名	ふれあいの里
平成 31 年 3 月 20 日	契約職員 6 名	児童発達支援センター

7 災害や事故等への備え

(1) 防犯訓練

不審者等による犯罪に備えるため、摂津警察署に依頼し、全職員対象の防犯訓練を実施しました。

実施日	出席者	場 所
平成 30 年 12 月 14 日	23 名	ふれあいの里
平成 31 年 1 月 25 日	32 名	みきの路

(2) 救命法講習

摂津市消防本部に依頼し、全職員対象の救命法講習を実施しました。

実施日	出席者	場 所
平成 30 年 6 月 15 日	10 名	みきの路

8 役員・評議員体制

① 役員・評議員（平成 31 年 3 月 31 日現在）

役職名	氏 名	所 属
理事長	松嶋 桂子	社会福祉法人摂津宥和会 理事長
理 事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理 事	西原 道男	摂津市肢体不自由児者父母の会
理 事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理 事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	登阪 弘	社会福祉法人摂津宥和会 事務局長
監 事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 委員長
監 事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 理事長
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	木下 薫	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	大阪人間科学大学 教授
評議員	杉本 正彦	一般財団法人摂津市保健センター 事務局長
評議員	堤 守	摂津市保健福祉部長

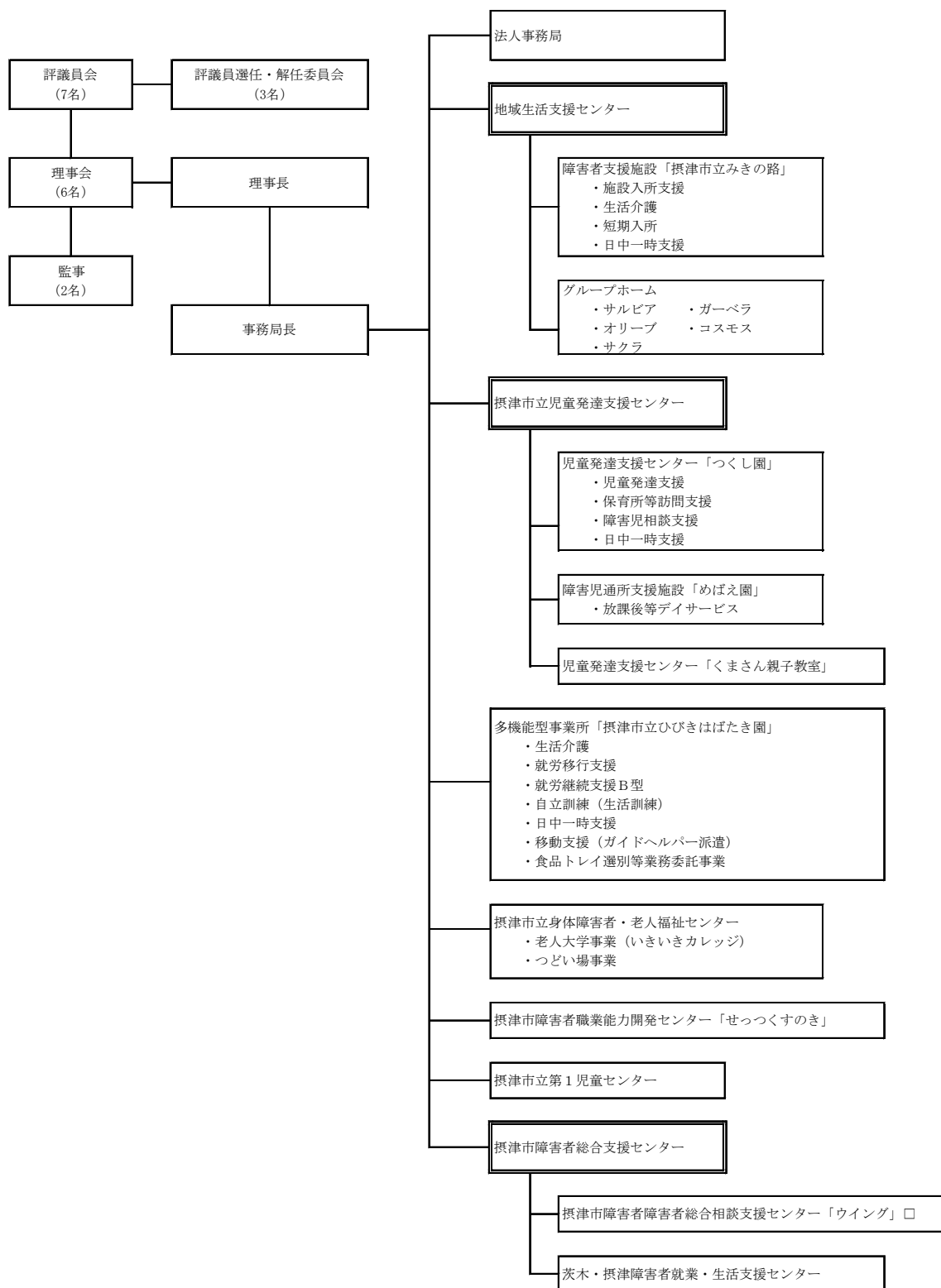
② 退任評議員

	役職名	氏 名	退任日
退任	評議員	木下 薫	平成 31 年 3 月 31 日
退任	評議員	堤 守	平成 31 年 3 月 31 日

③ 就任予定評議員

	役職名	氏 名	就任予定日
就任	評議員	井川 美知子	平成 31 年 4 月 1 日
就任	評議員	野村 眞二	平成 31 年 4 月 1 日

9 組織図（平成 31 年 3 月 31 日現在）



10 施設定員と職員配置（平成31年3月31日現在）

施設区分	施設定員	職員配置				合 計
		正職員	契約職員	嘱託職員	嘱託医	
事務局		4				4
地域生活支援センター						
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」		22	16	8	2	48
施設入所支援	30					
生活介護	40					
短期入所・日中一時支援	5					
グループホーム 「サルビア」	10	3	1	29		33
グループホーム 「ガーベラ」	5					
グループホーム 「オリーブ」	4					
グループホーム 「コスモス」	4					
グループホーム 「サクラ」	6					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター 「つくし園」	30	8	6		2	16
障害児通所支援施設 「めばえ園」	10	1	1	1	1	4
児童発達支援センター 「くまさん親子教室」		1				1
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」		15	8	6	(3)	29
生活介護	28					
就労移行支援	10					
就労継続支援B型	16					
自立訓練	6					
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		3				3
摂津市障害者職業能力開発センター	20	5	2	1		8
摂津市立第1児童センター		2	3			5
摂津市障害者総合支援センター						0
摂津市障害者総合相談支援 センター「ウイング」		6				6
茨木・摂津障害者就業・生活 支援センター		3	3			6
合 計		73	40	45	5	163

※（ ）は兼務

1 1 車輛管理状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

施 設		年 式	取得 年月日	車 輛	車両番号	年間走行 距離 (K m)	所有区分	備 考
1	法人事務局	H18. 1	H29. 3	トヨタ パッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	2, 721	法人	
2	地域生活支援センター 摂津市立みきの路	H29. 3	H29. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	7, 818	法人	日本財団 助成
3	〃	H25. 5	H25. 5	スズキ エブリイ 車椅子移動車	大阪880 あ 22-82	232	リース	H30. 5 リース満了
	〃	H30. 6	H30. 6	スズキ エブリイ 車椅子移動車	大阪880 あ 41-39	1, 546	リース	
4	〃	H26. 3	H26. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 82-94	7, 396	リース	H31. 3 リース満了
	〃	H31. 3	H31. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-28	583	リース	
5	〃	H26. 4	H26. 4	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 84-64	5, 757	リース	
	〃	H31. 3	H31. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-29	490	リース	
6	〃	H27. 3	H27. 3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	3, 197	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20. 6	H29. 3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	5, 796	法人	
8	〃	H22. 3	H29. 3	ホンダ バモス 軽乗用車	大阪581 な 16-82	4, 630	法人	
9	摂津市立児童発達支援センター	H23. 2	H23. 2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	2, 702	法人	日本財団 助成
10	〃	H29. 4	H29. 4	日産 シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200 は 5-98	7, 591	リース	
11	〃	H30. 4	H30. 4	ニッサン デイズ 軽乗用車	大阪581 は 12-41	2, 093	リース	
12	〃	H26. 8	H26. 8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	653	法人	
13	摂津市立ひびきはばたき園	H23. 3	H23. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 51-66	9, 591	法人	日本財団 助成
14	〃	H27. 8	H27. 8	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪830 さ 51-13	11, 126	リース	
15	〃	H28. 2	H28. 2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	9, 730	法人	日本財団 助成
16	〃	H24. 3	H24. 3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	6, 494	法人	
17	〃	H29. 3	H29. 3	トヨタ ノア ステーションワゴン	大阪503 も 91-17	13, 076	法人	
18	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	H28. 7	H28. 7	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503む 61-17	2, 687	リース	
19	障害者職業能力開発センター せつつくすのき	H27. 8	H27. 8	日産 ラフェスタ ステーションワゴン	大阪302 ほ 60-87	4, 821	リース	
20	摂津市障害者総合支援センター	H23. 3	H23. 3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	9, 409	法人	日本財団 助成
21	〃	H26. 8	H26. 8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	1, 843	法人	
22	〃	H26. 8	H26. 8	トヨタ アクア 乗用車	大阪503 は 16-16	1, 589	リース	

2 地域生活支援センター

I 障害者支援施設 「摂津市立みきの路」

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護)

1 施設入所支援・生活介護

(1) 概況

利用者の生活や活動において安心・安全を最優先にしながら、①地域生活支援拠点等事業の推進、②日中活動の充実、③支援内容の充実と向上、④防災拠点としての整備、⑤大規模修繕計画を5つの重点課題として取り組んだ。

特に、⑤大規模修繕計画については、修繕箇所の洗い出し及び修繕方法の検討、修繕箇所の優先順位、ロードマップ等予算も含めた具体的な計画書の作成に取り組んだ。大規模修繕計画を市障害福祉課に提出し、優先順位の高い空調設備と給湯設備は次年度の専門家による設計予算に繋がった。

④については、大阪北部地震や台風等の教訓を活かし、当施設の「災害マニュアル」を法人パワーアップ会議リスクマネジメント部会で検討して、防災拠点である福祉避難所のマニュアルとして活用できるように整備を図った。具体的に発電機等の備品や水・食料品・災害用グッズ等備蓄品の整備等を次年度予算に反映させた。

利用者の生活や活動に関わる②では年間を通じて、ひびきはばたき園との合同送迎体制を実施しながら、生活介護会議を開催した。懸案である日中活動と生活の場の分離については、生活介護事業の在り方も含めて継続して検討する。

③については、支援ソフトの活用により、フロアを超えての情報共有が定着し、活動や応援体制に結びついた。また、支援や活動等利用者に関わる案件をサービス管理責任者会議で検討し、運営面の課題等も含めて施設長や施設長代理も加えたリーダー会議で決定する仕組みを作り上げた。グループホームと一体的にサービス管理責任者会議及びリーダー会議を毎月2回定例的に開催して、サービスの向上と効率的・効果的な施設運営に努めた。虐待防止とより良い支援の増加をめざして、全職員対象の「自己チェックリスト」を毎月取り組み、新たに「自己申告書」を活用しながら人事考課に基づく職員面談と併せて労務管理と職員のスキルアップに努めた。環境整備の一環として、絵画教室やクリスマス・節分等季節に応じた作品制作を行い、施設内に展示して生活の潤いや楽しさに繋がる新たな活動に取り組んだ。指定管理者更新にあたり、給食等委託業務やリースの見直し作業を行い、経費削減を図って利用者へのサービス向上につながるカラオケの導入や送迎車のリース替えを行った。

①の地域生活支援拠点等事業の整備については、居住系施設の拠点として、施設見学にも同行しながら、複数のハウスメーカーとの具体的な話し合いにも参加した。引き続き、法人・グループホーム・市障害福祉課等と連携しながら取り組んでいきたい。

(2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護（通所）】

■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

サービスの提供に当たっては、利用者の安全に配慮しつつ、利用者の個人としての尊厳やニーズを尊重し、それぞれの障がい特性、心身の状態に応じて、ひとり一人の利用者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、様々な活動や生活支援を行った。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行った。

② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

また、利用者の心身の状態に応じた補装具を使用できるよう、補装具の工夫や取換えを行った。

③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状態に応じ、一般浴と機械浴を利用した。

④ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いした。

⑤ 理髪

月に1度、摂津理美容組合より1名と、同じく月に1度、美容師の方2名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行った。

⑥ 余暇活動

散歩・買い物・制作・カラオケ・ドライブ・スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院及び、突発的な体調の変化が見られた時は、医療機関を受診し、早期治療に努めた。

(ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科）	毎月 1 回
嘱託医（内科）	毎月 1 回
精神科・内科医	隔週 1 回
歯科	毎週火曜日 女性、毎週金曜日 男性
精神科医	毎月 2 回
鍼灸師	毎週 3 回

(イ) 健康診断（医療機関：千里丘協立診療所・場所：1 階社会適応訓練室）

実施日	内 容	受診人数
9 月 5 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	28
3 月 20 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、問診	29

(ウ) インフルエンザ予防接種

嘱託医（内科）の往診時に、インフルエンザの予防接種を行った。

(エ) 医療機関受診状況（延べ人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
内科	20	33	20	23	15	20	22	16	15	20	31	15	250
神経内科	1	2	2	2	2	2	1	3	0	2	1	0	18
循環器内科	1	4	2	3	1	2	3	1	2	2	2	0	23
外科	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
整形外科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	0	6
歯科	91	88	108	86	80	90	103	89	92	76	79	105	1,087
精神科	24	25	29	21	20	18	17	11	18	17	15	15	230
泌尿器科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
皮膚科	5	2	0	3	4	3	6	6	4	4	3	3	43
肛門科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
便秘専門外来	1	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	7
睡眠外来	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
眼科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻科	1	2	0	0	0	3	1	1	0	1	1	3	13

ストーマ外来	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
消化器内科	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	4
小児科 (てんかん)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
婦人科	1	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	6
救急外来	0	2	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	7
放射線科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
合 計	152	165	166	146	133	149	163	132	136	130	142	147	1,761

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを実施した。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて、短期間で達成できるより具体的な個別支援計画を作成し支援した。

② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

（ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

（イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作やロビー及び廊下の作品展示や飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

（ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

(エ) 散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出掛けた。活動時間が少ない時は、施設前のベンチに座り、外気浴を実施した。

(オ) 音楽療法

音やリズムを楽しみながら楽器に触れ、リズムに合わせて体を動かす等音楽を通して心身共にリラックスできるよう、音楽療法士のプログラムを提供した。

② 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には、週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴を利用した。

③ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えるとともに、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービス内容の提供、家族からの相談に対するアドバイスを行った。

④ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、毎朝検温、血圧測定を行った。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

(ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医による健康診断を実施した。

実施日	内 容	受診人数
9月5日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	6

(イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフルエンザの予防接種を実施した。

■ 合同活動

① グループ活動

施設入所支援、通所支援というフロアごとの日中活動ではなく、全利用者の日中活動の充実、夜間支援、日中支援の差別化、個々の障がい特性や心身の状態に応じた支援の提供を目的とし、グループ活動を毎週火曜日と木曜日の午後に実施した。

利用者のニーズや障がい特性に応じ、5つのグループに分かれ、それぞれのグループ担当支援員が、担当利用者の障がい特性等に応じた研修を受けながら、利用者のストレスを維持・向上できるよう個々の支援を行った。

(ア) 活動内容

1 班	リラックスできる空間を提供し、個々の身体特性に応じたストレッチや外気浴、散歩などを行った。ボールプールやエアートランポリン、スヌーズレンの用具などを活用して、より充実した内容になるよう取り組んだ。
2 班	自閉的傾向のある方に対し、集中して取り組めるプットイン作業やパズルといった室内での活動に必要な用具を活用し、作業内容を充実させた。また、気分転換や体を動かしてエネルギーを発散できる散歩やドライブなどを行った。
3 班	創作意欲や集中力、達成感を味わえる制作、工作などの手先を使った活動やリズム体操やシャボン玉をしながらの外気浴等、身体機能の維持・向上や精神面の安定を図る活動を行った。
4 班	天気の良い日には近隣の公園に散歩に出かけ、天気の悪い日は室内で体操やレクリエーションをしながら、運動不足の解消や体を動かして心身の健康の維持・向上を意識した活動を行った。
5 班	花壇で花の栽培や室内で軽作業に取り組む等自立に向けた活動を行った。また、三中フェスタでは、地域の子供達にスノードーム作りを教え、交流を図った。

(イ) おやつ作り

グループ活動班ごとに、栄養士と利用者でおやつを作り、午後のおやつの時間に提供した。利用者の希望や、障がい特性やニーズに応じ、おやつのメニューを決めた。

(ウ) 音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活をめざし、音楽療法士が週に1～2度来所し、グループ活動班ごとに音楽療法を受けた。また、活動がない日は、各フロアで音楽療法を実施した。

(エ) ひびきはばたき園との交流

鳥飼体育館で風船バレーボールの練習等各行事に数名の利用者が参加し、利用者間

の交流を図った。また、ドアツードアの送迎サービスの充実を図るため、合同での送迎を行った。

(オ) グループ外出

グループ活動班ごとにメンバーを決め、日帰りの外出を行った。

実施日	場 所	参加人数
4 月 24 日	鶴見緑地公園	2
5 月 22 日	ハッピードリームサーカス	4
8 月 30 日	鶴見緑地プール	2
9 月 18 日	長居公園	2
9 月 20 日	神戸三田かねふくめんたいパーク	4
10 月 4 日	相撲館けはや座	4
11 月 10 日	京都市青少年センター	2
11 月 27 日	鶴見緑地公園	4
12 月 6 日	アミティ舞洲	3
12 月 21 日	イオンモール茨木（映画）	3
1 月 17 日	京都鉄道博物館	5
1 月 28 日	箕面大江戸温泉物語	2
3 月 18 日	長居障がい者スポーツセンター	3

② 絵画教室

毎週木曜日に絵画の先生に来ていただき、意欲、感受性、創造力、創作力、表現力といった日頃の生活の中では見出しにくい力を引き出し、精神面の安定や新たなストレスの発見を期待する活動を行った。パステル、絵の具、クレパス、ペン、色鉛筆などを使用して思いおもいの作品を作った。その作品は、12 月の人権教育啓発作品展や 2 月に開催された「つくっ展と輝けコンサート」の会場に展示した。また、みきの路の廊下に常時展示をした。

(3) 定員及び利用状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

① 定員及び利用人数

(ア) 利用実人数

■施設入所支援 定員 30 名（男性 16 名・女性 14 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	186
女	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	166
計	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	29	29	352

■生活介護（通所） 契約者数 13 名（定期利用 12 名・不定期利用 1 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	91
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	151

（イ）利用延人数（通所）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	147	158	150	156	170	129	141	136	127	122	119	129	1,684
女	89	91	95	102	111	84	99	100	92	92	88	97	1,140
計	236	249	245	258	281	213	240	236	219	214	207	226	2,824
支援 日数	20	21	20	21	23	17	22	21	19	19	19	20	242
平均 人数	11.8	11.9	12.3	12.3	12.2	12.5	10.9	11.2	11.5	11.3	10.9	11.3	11.7

② 利用者の状況

（ア）年齢

■施設入所支援

（人）

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	1	4	7	4	0	16
女	0	0	1	8	4	0	13
計	0	1	5	15	8	0	29

■生活介護（通所）

（人）

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	4	1	3	0	0	8
女	0	2	0	1	1	1	5
計	0	6	1	4	1	1	13

（イ）手帳の所持状況

■施設入所支援

【療育手帳】

（人）

	A	B1	B2	合計
男	16	0	0	16
女	13	0	0	13
計	29	0	0	29

【身体障害者手帳】

（人）

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	4	0	0	0	1	11	16
女	3	4	2	1	0	3	13
計	7	4	2	1	1	14	29

■生活介護（通所）

【療育手帳】

（人）

	A	B1	B2	なし	合計
男	8	0	0	0	8
女	5	0	0	0	5
計	13	0	0	0	13

【身体障害者手帳】

（人）

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	3	1	1	0	0	3	8
女	3	0	0	0	0	2	5
計	6	1	1	0	0	5	13

(ウ) 障害支援区分

■施設入所支援

(人)

	区分 6	区分 5	区分 4	合計
男	5	8	3	16
女	7	5	1	13
計	12	13	4	29

■生活介護（通所）

(人)

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	合計
男	4	4	0	0	8
女	3	0	2	0	5
計	7	4	2	0	13

(4) 行事

① 施設行事

通年	グループ外出	施設入所支援 生活介護	
5 月 24 日	音楽コンサート	合同	家族参加行事
7 月 16 日	納涼会	施設入所支援 生活介護（希望者）	地域行事
10 月 9 日	運動会（室内）	合同	家族参加行事
11 月 5 日	摂津高校和太鼓コンサート	合同	
12 月 17 日	クリスマス会	合同	

② 地域行事

5 月 27 日	大阪府障がい者スポーツ大会 （フライングディスク）	施設入所支援
8 月 4 日	摂津まつり	
8 月 18 日	桜町自治会盆踊り	
11 月 11 日	三中フェスタ	

11 月 25 日	輪い輪いまつり	施設入所支援
12 月 9 日	風船バレーボール大会	

③ 法人行事

10 月 27 日	摂津宥和会運動会	天候不良のため中止
2 月 16 日	つくっ展と輝けコンサート 出展・見学	合同

(5) 防災

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第 1 回目	10 月 11 日
第 2 回目	3 月 22 日

② 利用者参加のもと、避難訓練を 3 回実施した。

第 1 回目	10 月 16 日 (火災、消火訓練)
第 2 回目	2 月 25 日 (地震、火災)
第 3 回目	3 月 11 日 (火災、通報訓練・消火訓練)

③ 摂津市消防本部による心肺蘇生法、AED 使用法の講習を 6 月 15 日に受講した。

④ 摂津警察署による防犯訓練及び護身術の講習を 1 月 25 日に受講した。

(6) 実習生の受け入れ

実習生として、大阪成蹊短期大学より 4 名を受け入れた。

(7) 施設見学

福祉関係団体からの依頼を受けて、施設見学及び概要説明を実施した。

9 月 25 日	摂津市人権擁護委員	5 人
11 月 21 日	三中校区民生児童委員	30 人
2 月 15 日	一中校区民生児童委員	25 人

(8) 進路説明会

支援学校の進路説明会に参加して、在校生の家族に施設概要及び事業内容について説明を行った。

2 月 13 日	摂津支援学校
3 月 13 日	茨木支援学校

(9) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加及び施設に講師を招く等、職員研修を積極的に実施した。

実施月日	研 修 名	場 所	主 催	職種
5 月 18 日 25 日 30 日	福祉職員研修（初任者）	大阪社会福祉 指導センター	大阪府社会福祉 協議会	支援員
5 月 17 日	広報誌研修会	〃	〃	〃
5 月 18 日	音楽療法講習会	摂津市立みきの 路	摂津市立みきの 路	〃
5 月 25 日	障がい者総合支援制度に おける指定事業者・施設集 団指導	枚方市市民会 館	大阪府	施設長
6 月 4 日 14 日	福祉職場におけるキャリ アパス構築セミナー	大阪社会福祉 指導センター 難波御堂筋ホ ール	大阪府社会福祉 協議会	支援員
7 月 9 日	安全運転管理者等講習会	摂津市立コミ ュニティプラ ザ	大阪府	施設長
7 月 10 日 20 日 30 日	福祉職員研修 （チームリーダー）	大阪社会福祉 指導センター	大阪府社会福祉 協議会	支援員
7 月 12 日	平成 30 年度大阪府相談支 援従事者初任者研修（2 日 課程）	国際障害者交 流 セ ン タ ー （ビッグ・ア イ）	大阪府障害者福 祉事業団	〃

6月8日	障がい者等福祉従事者研修会（非常勤職員研修）	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	〃
6月21日 9月27日	平成30年度大阪府サービス管理責任者等研修（介護）	国際障害者交流センター（ビッグ・アイ） 大阪府社会福祉社会館	大阪府社会福祉事業団	〃
6月21日 9月27日	障がい児者施設課程（入所コース）	大阪社会福祉指導センター 大江ビル	大阪府社会福祉協議会	〃
8月17日	ステッピングストーンズ	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	〃
8月28日	成人施設課程基礎コース	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	〃
9月4日 9月10日	平成30年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	ドーンセンター たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
9月12日 9月25日	〃	〃	〃	〃
9月12日 10月3日	〃	〃	〃	〃
10月5日	リスクマネジメントに関する研修会	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	〃
10月10日	成人施設課程応用コース	〃	〃	〃
10月15日	施設階層別人権研修	〃	〃	〃
10月26日 11月15日 16日	平成30年度大阪府サービス管理責任者等研修（介護）	エル・おおさか 大阪府社会福祉社会館	一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	〃
12月3日 12月13日	平成30年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）	たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉センター	〃

12月3日 12月18日	平成30年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修)	たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員
12月5日 12月20日	〃	〃	〃	〃
10月3日	障がい児者施設課程 (管理者クラス)	大江ビル	大阪府社会福祉協議会	施設長
11月26日 27日	近畿地区知的障害者関係 施設長会議	オリエンタル ホテル	近畿地区知的障害者施設協会	〃
1月18日	福祉サービス事業所等の BCP(事業継続・復旧計画)講座	国際障害者国際交流センター (ビッグ・アイ)	ビッグ・アイ共働機構	支援員
3月18日	障がい者虐待の防止について	いきいきプラザ	摂津市	〃

2 短期入所 定員5名(男性3名・女性2名)

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

(1) 利用延人数

【成人】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	76	79	71	83	90	94	62	59	64	71	75	82	906
女	29	15	30	35	28	35	32	36	38	29	13	33	353
計	105	94	101	118	118	129	94	95	102	100	88	115	1,259

【児童】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
女	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
計	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4

3 日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方に対し、日帰りでのサービスを提供した。

(1) 利用延人数

【成人】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	55	56	57	52	50	44	48	47	43	37	48	47	584
女	8	8	6	5	7	6	6	3	3	6	1	1	60
計	63	64	63	57	57	50	54	50	46	43	49	48	644

【児童】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
計	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3

4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、平成 30 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1 床）」の覚書を締結した。

5 大阪北部地震及び台風による被害

平成 30 年 6 月 18 日午前 7 時 58 分に発生した大阪北部地震では、法人の「気象発令及び地震発生時の緊急措置について」に従って、法人事務局や市障害福祉課とも連絡を取りながら、通所生活介護事業は臨時休所とした。直ちに、利用者と家族及び職員の安否確認を行う一方、建物の被害状況の把握と安全確保に努めた。利用者に負傷者は出なかったが、建物や設備面に被害が及んだ。

エレベーター休止・スプリンクラー呼び水槽の減水・屋上換気ファン停止・水道水の濁り、厨房ドアの傾き、外壁クラック発生、植栽の陥没が発生した。特に、水道水は給食調理する上で不可欠なため、備蓄飲料水と、市障害福祉課を通じて市上下水道部より調達した水で対応した。エレベーターの復旧には 1 日以上を要したため、この間の短期入所受け入れを停止した。その他の箇所については、順次修繕を行い復旧した。

台風 21 号については、利用者及び施設に大きな被害はなかった。

Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）

（１）概況

地域生活支援拠点等事業を具現化する為に、引き続き地域生活支援拠点等事業のコーディネーターを管理者が兼務し、地域福祉の拠点となれるように努めた。摂津市自立支援協議会相談支援部会への参加、大阪府社会福祉協議会と連携した社会貢献事業にも積極的に参加し、地域課題や実情の把握に努め、整備に必要な重点課題を抽出しながら、関係機関との連携強化に努めた。24時間の相談受付体制の整備についても、基幹相談支援センターをはじめ、市内の相談支援事業所とも意見交換を行った。摂津市障害福祉課とも協議を重ね、短期入所の増床を行う事で、利用者の利便性の向上、緊急時の円滑な受入枠の確保、体験利用の場の確保の必要性を共通認識とした。それに併せて重度障害者が利用出来るオーダーリース型グループホームを兼ね備える事で、拠点等整備に必要な重点項目をクリア出来る事を確認した。ハウスメーカーとの情報交換と並行して、オーダーリース型グループホームの開設を希望するご家族との協議と見学会にも参加した。

世話人全体会議については月１回の定例開催を継続した。今年度も外部研修に参加する機会を増やし、勉強会や伝達研修での支援スキルや知識の向上、法制度の周知を図った。世話人の仕事に対する意識向上や的確な人材確保を目的に処遇改善加算の申請を行い、働きやすい職場環境の維持に努めた。

新規利用者の見学や体験利用の受入を行うとともに、入居者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域社会との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障害のある人も地域で当たり前暮らし共生社会づくりを目指して、取り組みを行った。結果として、1名の利用者の一人暮らし希望を実現させ、その後の生活のサポートを相談支援事業所に引き継ぎを行った。ひびきはばたき園の家族会に対し、グループホームの説明会と見学会を実施し、グループホームに対する理解と利用促進等、啓発活動にも取り組んだ。

◎オーダーリース型グループホーム見学会

実施月日	見学先
7月27日	月の輪学園
10月31日	熊取療育園
11月1日	高井田苑
11月26日	ほわほわの会
2月18日	ジェイエスステージ

（２）定員及び利用状況（延べ利用者数）

◎サルビア（利用定員10名 女性）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	270	270	270	279	268	270	279	259	275	276	258	287	3,261
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	8	9	30
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	11	3	0	0	0	14
1日平均	9.0	8.7	9.0	9.0	8.6	9.0	9.0	8.6	8.8	8.9	9.2	9.2	8.9

◎ガーベラ（利用定員5名 女性）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	121	127	122	127	124	120	124	120	124	124	112	124	1,469
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

◎オリーブ（利用定員5名 女性）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	140	140	141	145	136	138	145	142	131	133	130	143	1,664
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1日平均	4.6	4.5	4.7	4.6	4.3	4.6	4.6	4.7	4.2	4.2	4.6	4.6	4.5

◎コスモス（利用定員4名 男性）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	118	115	113	117	114	110	118	114	116	117	107	119	1,378
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	3.9	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7

◎サクラ（利用定員男性4名 女性2名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	159	168	167	166	162	165	168	172	151	146	138	162	1,924
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	28	31	24	0	83
1日平均	5.3	5.4	5.5	5.3	5.2	5.5	5.4	5.7	4.8	4.7	4.9	5.2	5.2

(3) 入居者の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

◎サルビア

■年齢構成

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	合計
2	2	1	2	1	1	9

■障害支援区分

区分 2	区分 3	区分 4	区分 5
1	2	4	2

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1
6	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
7	2

◎ガーベラ

■年齢構成

40 代	50 代	60 代	合計
1	2	1	4

■障害支援区分

区分 3	区分 4
1	3

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1	精神保健福祉手帳 2 級
1	2	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
3	1

◎オリーブ

■年齢構成

20 代	40 代
3	2

■障害支援区分

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4
1	2	1	1

■手帳所持状況

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

■日中活動状況

生活介護	就労移行支援	就労
1	1	3

◎コスモス

■年齢構成

20代	40代	50代
2	1	1

■障害支援区分

区分2	区分3	区分5
1	2	1

■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳B 2
1	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型	就労移行支援	就労
1	1	1	1

◎サクラ

■年齢構成

20代	40代	50代	60代
2	2	1	1

■障害支援区分

区分3	区分4
5	1

■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳B 2	精神保健福祉手帳2級	身体障害者手帳2級
2	2	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型	就労移行支援
1	4	1

(4) 支援の状況

入居者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生

活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。一人暮らしを希望された利用者に対して、生活スキルの再アセスメントと今後のサポート体制を十分に検討し、相談支援事業所への引き継ぎを丁寧に行って、地域での生活を実現させた。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用して頂き、土日祝日に関しては、移動支援を利用するなど、余暇活動の充実を図った。

また、就労している入居者からの相談が増えた事に伴い、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとの連携を深め、会社訪問の機会も設定した。転職を希望された利用者には面談の時間を多く設けて、今後の見通しや将来のビジョンを丁寧に聞き取りながら支援を行った。

食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよく噛み、味わって食して頂くように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供など、利用者の障害特性の変化に柔軟に対応すべく、主治医との意見交換も積極的に行った。

(5) 個別支援計画

入居者それぞれの多様なニーズに対応するために、6カ月に1回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で入居者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

みきの路入所利用者の地域移行を目指した個別支援会議にサービス管理責任者が入り、グループホームで必要となる生活スキルや支援方針の情報共有を行い、個別支援計画書の作成のサポートに当たった。

(6) 健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや入居者の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診（各種がん検診）や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される入居者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認、配薬チェック表の利用、口腔内の残薬確認の徹底を行った。

生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続する為に、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

■医療機関受診・往診状況

◎サルビア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	7	5	7	2	4	2	11	6	5	2	4	57
精神科	3	2	3	3	3	2	3	2	3	2	3	3	32
婦人科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	4
眼科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
歯科	7	8	8	10	10	9	7	1	4	1	3	2	70
訪問看護	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3	3	4	44
合 計	16	21	22	24	19	19	19	18	17	11	11	14	211

◎ガーベラ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	3	4	5	4	1	2	3	3	2	3	2	34
精神科	1	0	1	1	3	0	1	1	1	1	1	1	12
婦人科	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	0	1	1	2	0	2	2	0	0	0	0	8
歯科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	1	6
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
訪問リハ	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合 計	16	16	19	20	24	14	17	18	16	18	16	16	210

◎オリーブ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
婦人科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
脳神経内科	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	5
歯科	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	9
口腔外科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	5	1	2	2	1	2	4	1	0	0	3	0	21

◎コスモス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	1	2	0	1	1	0	0	0	1	2	1	10
精神科	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
耳鼻科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	4
合 計	3	4	3	1	3	5	1	1	1	2	3	2	29

◎サクラ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	0	3	2	2	3	1	0	2	4	5	5	30
精神科	2	1	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	10
婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
整形外科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	5
耳鼻科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
歯科	2	1	2	0	2	0	0	0	2	2	4	5	20
合 計	9	2	8	4	5	4	3	0	5	6	10	13	69

(7) 日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じて随時、ケース会議を開催した。

新規入居者・体験利用者に対しては、サービス担当者会議の頻度を増やして、緊密な連携体制を構築した。

(8) レクリエーション・行事

初詣や誕生日会、クリスマス会を開催し、コミュニケーションを図った。

地域の催しとして5月のこどもフェスティバル、8月の摂津祭り、11月の輪い輪い祭りと三中フェスタ、12月の風船バレーボール大会にそれぞれ参加した。

その他、各公民館やコミュニティーセンターで開催されるイベントには利用者の希望に沿って可能な限り参加した。

5月にはガンバ大阪主催ゲームの招待を受け、Jリーグ観戦に出掛けた。

また、大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、他事業所の方々との交流を図った。

(9) 災害防止・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険個所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。

摂津市自立支援協議会相談支援部会の災害時対応検討ワーキングに参加し、居住系サービス、通所系サービスの災害時対応マニュアルのひな型作りや、市内の全障害者を対象にした個別避難計画書のひな型作りを行った。その内容を加味し、災害時対応マニュアルの見直しを図り備蓄食料も常備した。

摂津警察署と連携し、防犯訓練への参加とホーム周辺の巡回を依頼し防犯対策を講じた。

夜間支援を行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応に備えた。

(10) 職員研修等

今年度も数多くの外部研修に職員を派遣し、地域福祉や、高齢期の障がい者支援や地域共生社会の実現に向けた知識や理解を深める研修等、共同生活援助を取り巻く環境を広義的な目線で理解し、知識を深める事に重点を置いた。

各研修で得た知識や情報は、世話人会議等での伝達研修を行った。

◎研修会

実施月日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
5 月 18 日	音楽療法勉強会	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	管理者 サビ管
6 月 26 日 8 月 30 日 10 月 30 日	障がい等福祉従事者研修 (世話人研修会)	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	世話人
7 月 13 日	大阪府知的障害者福祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉会館	大阪府知的障害者福祉協会	サビ管
7 月 18 日	セクハラ・パワハラのない職場環境づくりのために	摂津市立みきの路	摂津宥和会	管理者
7 月 19 日	高齢障がい者の自立支援に向けた援助について	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市地域包括支援センター	管理者 サビ管
7 月 27 日	障がい児者施設課程 (主任クラス) 研修会	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	サビ管

8月21日 10月1日 10月19日	大阪府サービス管理 責任者等研修	ビッグ・アイ 大阪府社会福祉 会館	大阪府社会福祉事 業団	支援員
8月17日	ステッピングストー ンズ	摂津市立みきの 路	摂津市立みきの路	管理者サ ビ管
9月3日 9月4日	グループホーム等研 修会全国大会 in 愛媛	愛媛県ひめぎん ホール	日本知的障害者福 祉協会	管理者
9月13日	大阪府知的障害者福 祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉 会館	大阪府知的障害者 福祉協会	サビ管
11月15日	大阪府知的障害者福 祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉 会館	大阪府知的障害者 福祉協会	サビ管
11月30日	障がい者虐待防止・ 権利擁護研修	ビッグ・アイ	大阪府	支援員
12月6日 12月7日	グループホーム世話 人等研修会	大阪府障がい者 自立センター	大阪府	世話人
12月6日12 月15日	CSW マイスター研修会	プリムローズ鳳 凰	大阪府社会福祉協 議会	管理者
12月13日	近畿地区知的障害者 施設協会グループホ ーム等職員 研修会 in 兵庫	尼崎市中小企業 センター	兵庫県知的障害者 施設協会	支援員
3月14日	大阪府知的障害者福 祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉 会館	大阪府知的障害者 福祉協会	サビ管
3月18日	摂津市虐待防止講演 会	いきいきプラザ	摂津市	サビ管世 話人

◎摂津市内グループホーム連絡会

実施日時	場 所	参加者
5月8日	バクかふえ	サビ管
8月21日	バクかふえ	サビ管
1月23日	バクかふえ	サビ管
3月13日	バクかふえ	サビ管

◎世話人全体会議 伝達研修

実施月日	開催場所	参加人数
4月17日	みきの路	10人
5月15日	みきの路	13人

6月19日	みきの路	17人
7月17日	みきの路	11人
8月30日	みきの路	16人
9月18日	みきの路	13人
10月16日	みきの路	19人
11月20日	みきの路	23人
12月18日	みきの路	14人
1月15日	みきの路	13人
2月12日	みきの路	12人
3月19日	みきの路	21人

(11) 各種会議

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会

実施月日	開催場所	参加者
毎月第2水曜日	摂津障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会 災害時対応検討ワーキング

実施月日	開催場所	参加者
8月24日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
9月25日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
10月23日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
11月27日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
1月21日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
3月20日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会地域移行部会

実施月日	開催場所	参加者
6月26日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
2月19日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎北摂施設長会

実施月日	開催場所	参加者
3月1日	高槻市生涯学習センター	管理者

(12) 社会貢献事業

◎大阪しあわせネットワーク支援状況 (1件)

年齢超過で児童養護施設を退所する方(精神障害者保健福祉手帳所持者)の居住確保支援。
社会貢献基金の捻出でグループホームへの円滑な転居を支援。

実施月日	支援概要	開催場所・訪問先	対応者
4月9日	初回相談受付	相談支援あしすと	管理者
4月20日	本人面談	グループホーム(八尾市内)	管理者
4月25日	社会貢献基金申請		管理者
5月8日	サービス担当者会議	吹田子ども家庭センター	管理者
6月1日	近況聞き取り	あしすと、グループホーム各担当者に電話にて	管理者
6月8日	サービス担当者会議(支援終結)	吹田子ども家庭センター	管理者

(13) 大阪北部地震及び台風による被害

平成30年6月18日午前7時58分に発生した大阪北部地震では、福祉サービス利用の利用者については全利用者ホーム待機とし、世話人の対応で精神面の安定と安全確認を行った。

自力通所、自力出勤している利用者については通所先や勤務先に連絡を入れ、またご本人の携帯電話への連絡で安否確認を行った。

公共交通機関の運休や主要道路の渋滞等で職員、職員の出勤にも影響が出たので、各ホームに残っていた利用者については、順次送迎車を出してみきの路に集ってもらい、ホームの職員体制が整い次第、各ホームへの送迎を行った。

水道、ガスが一時的に遮断されたホームもあったが、復旧が早かった事もあり、生活上の不便さは最小限で留める事が出来た。

外壁や内壁に亀裂が入ったホームもあり、管理会社への修繕依頼を行った。

平成30年9月4日の台風21号は大阪府を直撃する事が予想されたため、前日から環境整備と職員の勤務体制を整え、利用者の生活と職員の安全な出勤の配慮に努めた。飛散物等での建物への被害は無く、当日は利用者の外出も控えてホームに残ってもらい、人的被害も無かった。

3 摂津市立児童発達支援センター

I 児童発達支援センター「つくし園」

(1) 概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活への適応のための専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。

就学前の障がい種別を問わない乳幼児の心身ともに豊かな発達を促す療育を行い、様々な発達の遅れや課題を有している子どもに対して、保護者の子育て支援・家族支援を行いつつ、子ども個々の発達を促すことのできる環境を提供することに主眼を置いた療育・保育を行った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える6名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みを理解していただき、対象校区の小学校及び摂津・茨木支援学校で保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。また、12月に他県に転居した年長児1名が平成31年4月に就学を迎えるため、その後の進路先に対して摂津市教育委員会を通じて教育支援会議の内容等の情報を提供した。

平成30年度から摂津市内の「障害児相談支援」については、発達に課題のある子どもたちを対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い、最適な福祉サービスが利用できるように当センターで実施している障害児相談支援へ一本化した。利用児や保護者にご迷惑やご不安をかけないために、障害者総合相談支援センターでの出張相談等を行い年間925件の相談に対応した。

(2) 療育の状況

発達の遅れがある園児について障がいの程度や発達段階に応じて集団や個別の方法で療育した。

① クラス編成は単独通園クラス2クラスと母子通園クラス1クラスとし、年齢、発達状況、母子関係を考慮した個別プログラムを立て療育を行った。母子クラスでは単独クラスへの移行を見通して通園形態を変更したり、園児の発達状況に応じたきめ細かな取組みを実施した。

② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の習得をねらい、習慣化による動作の体得や認知面の発達を促し生活のリズムを整えるように援助した。

- ③ 遊びやいろいろな行事を通して人との関わりを持ち、ことばを育み、心身の豊かな発達を促した。同一の設定保育で個々の発達状況により課題別にグループ編成をしたり、就学予定児への訓練プログラムも実施した。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携により助言、指導を受けた。

④ 行事

実施日	行事名	場 所	参加者（人）	内 容
4月5日	保育説明会	園 内	園 児 22 保護者等 22	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明。
5月13日	日曜参観	園 内	園 児 20 保護者等 48	保護者（特に父親）が療育内容と子どもの様子を知り理解を深める機会とした。
7月6日	七夕まつり	〃	園 児 22 保護者等 12	季節の行事として経験の拡大を図った。
7月27日	夕涼み会	〃	園 児 21 保護者等 90	児童発達支援センターの利用対象児、OB・OG、保護者、職員の交流を行った。
10月10日	遠 足 (単独クラス)	摂津市立三島公園	園 児 7	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月22日		万博自然文化園	園 児 11	
10月12日	遠 足 (母子クラス)	茨木市立水尾公園	園 児 10 保護者等 10	母子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
11月3日	運動会	鳥飼体育館	園 児 28 保護者等 110	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月14日	クリスマス会	園 内	園 児 30 保護者等 39	保護者と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月17日	生活発表会	〃	園 児 29 保護者等 87	一年の総まとめとして子どもたちの発達を保護者と確認し成長の糧とした。

3月13日	お楽しみ会 (単独クラス)	〃	園児 18 保護者等 18	単独通園クラスの最後の 行事として親子がカレー 作りをして一緒食事した
3月22日	卒園式 修了式	〃	園児 29 保護者等 43	卒退園・一年の修了を祝 った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類される。

園児個々の発達段階を考慮して各クラスあるいは全体での行事として内容を考慮し実施した。

園児が安全に楽しめ、力を発揮できる環境を整えるため、職員ボランティア、OB・OG保護者ボランティアの導入により個々の園児にスポットが当たる行事とすることができた。

⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち正しく園児を理解できるよう努めてきた。

項 目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後に実施した。また必要に応じて実施した。
個別面談	各担当者が母親との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。主に進路のことなどについて精神的な援助やアドバイスをを行い自己決定できるように促した。(年4回、その他随時)
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明。母親がクラスの中で他人の意見が聞けて自分の意見を言えるようになり、互いに協力しあってより子どもに向き合っていけるように促した。(毎月1回)
3者面談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて父親も参加しやすい日曜日に面談を実施した。(随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行った。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。午後は、母親教室を実施することが多かった。(月1回)
単独クラス 親子保育	単独通園クラスの保護者を対象とした取組みを行った。親子で登園し子どもを見ながら園と家庭との様子の違いなどの情報交換・園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。(月1回)

保育参観	計画に基づいての参観は給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観を実施した。また、保護者が園での子どもの状態を把握する目的での参観も、随時受け入れた。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況・食事内容・健康状態などの伝達手段として、保護者の育児に対する考え・姿勢・問題点を把握し、園の取組みに対する理解を促し、アドバイスをを行った。 (毎日)
園だより	近況紹介、新入园児の紹介、月間予定、給食だより(献立表)連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

*母親教室

園児の発達に関する学習や講習による技術習得を行い、保護者の悩みの軽減による精神的なゆとりを持つ事等が子育てにとって何より重要であり、年5回児童発達支援センター職員である訓練士、心理士等より講話を行った。

⑥ 進路指導

子どもの発達にとって望ましい環境を提供し、スムーズな移行と適応を図るための取組みとして、就学児については進路説明会を行い、教育委員会を窓口し、対象校(地域小学校と支援学校)の見学と体験入学の打ち合わせを行った。学校に体験入学の主旨や、園児の状況に対する理解を促した上で、体験入学を実施し、保護者が進路について十分な理解と検討をした上で、教育支援会議を迎えるという手順を踏んだ。就園(幼稚園、保育所)についても進路説明会を行い、進路先に対する理解を促し、必要に応じ体験入園や一日保育を行った。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
4月27日	就学児進路説明会	6
6月15日	幼保進路説明会(年中)	3
6月29日	幼保進路説明会(年少)	9

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
5月22日	鳥飼西小学校	取組説明	1
5月25日	摂津市 教育委員会	教育相談	5
5月29日	鳥飼東小学校	取組説明	1

5 月 31 日	千里丘小学校	〃	1
6 月 21 日	〃	見学	1
6 月 25 日	摂津支援学校 小学部	見学会	4
〃	茨木支援学校 小学部	〃	1
6 月 28 日	鳥飼東小学校	見学	1
9 月 27 日	教育支援会議	検討会議	6
9 月 28 日	茨木支援学校 小学部	体験入学	1
10 月 15 日	摂津支援学校 小学部	〃	4
10 月 11 日	鳥飼西小学校	〃	1
10 月 16 日	鳥飼小学校	〃	1
10 月 19 日	鳥飼西小学校	〃	1
10 月 19 日	千里丘小学校	〃	1
10 月 24 日	鳥飼東小学校	〃	1

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
12 月 10、11 日	子育て総合支援センター保育所	一日保育	1
1 月 17 日	ひかりにこにこ保育園	〃	1
1 月 24 日	東大阪市立小坂こども園	〃	1
2 月 13 日	〃	〃	1
2 月 18 日	藤森保育園	〃	1

(3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に衛生状態には細心の注意を払い対応した。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5 月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活になるように努めた。

また、健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	6 月 5 日、11 月 26 日
-------	-------------------

②その他健診、検査

健診日	内 容
5 月 11 日	尿 検 査
5 月 22 日	歯科健診
6 月 7 日	耳鼻科健診

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月 1 回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施した。また給食会議とは別に、調理員と施設側の保育士・児童指導員の会議も月 1 回実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。

家庭との連携のため月 1 回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

① 通園状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
母 子 ク ラ ス園児数	63	65	86	111	98	88	134	122	94	110	117	125	1,213
単 独 ク ラ ス園児数	223	297	275	308	271	238	359	353	272	247	272	297	3,412
園児数 合計	286	362	361	419	369	326	493	475	366	357	389	422	4,625

② 年齢別

(人)

年齢	3 才	4 才	5 才	6 才	計
男	4	7	4	5	20
女	1	6	3	1	11
計	5	13	7	6	31

③ 障がいの状況（原疾患・合併症・診断名）（人）

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	14	0	6
女	8	1	2
計	22	1	8

④ 療育手帳の所持（人）

区分	A	B1	B2	所持無	計
男	3	2	4	11	20
女	2	0	2	7	11
計	5	2	6	18	31

⑤ 身障手帳の所持（人）

区分	1 級	2 級	計
男	1	0	1
女	0	0	0
計	1	0	1

⑥ 進路の状況（人）

区分	保育所	幼稚園	支援学校	地域小学校	計
男	1	1	4	1	7
女	2	2	1	0	5
計	3	3	5	1	12

（6）障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人員	22	19	11	14	16	6	18	10	11	18	7	12	164
身体障がい	0	1	0	0	2	2	0	0	2	6	3	6	22
重症心身障がい	7	7	5	3	7	4	5	4	7	5	6	7	67

知的障がい	13	20	10	17	16	12	23	23	17	19	17	18	205
発達障がい	2	3	2	7	8	8	9	6	6	6	6	5	68
その他	0	2	2	1	0	1	0	0	0	3	0	1	10
計	22	33	19	28	33	27	37	33	32	39	32	37	372

② 支援内容

(人)

福祉サービスの利用等に関する支援	577	保育・教育に関する支援	89
障がいや病状に関する支援	6	社会参加・余暇活動に関する支援	0
健康・医療に関する支援	70	その他	149
不安の解消・情緒安定に関する支援	1		
家族関係・人間関係に関する支援	33	計	925

(7) 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、発達に課題のある子どもたちに対して、他の子どもたちとの集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行った。

実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
公立保育所	2	7	3	5	5	5	6	6	6	6	6	6	63
私立保育所	4	9	7	7	7	7	6	7	7	6	7	7	81
公立幼稚園	1	5	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	35
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	2	2	2	1	1	0	1	1	3	0	0	2	15
計	9	23	15	16	16	15	16	16	19	15	16	18	194

(8) くまさん親子教室事業

発達や療育上に課題のある概ね2歳から3歳児の幼児及び保護者の親子を対象に、1日10組で1クール半年で実施した。入室希望者が多かったため、週4回実施した。

実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月曜日								7	14	17	16	19	73
火曜日	9	22	15	20	15	15	31	26	17	27	24	13	234
水曜日	4	22	20	17	15	12	20	18	16	25	24	13	206
金曜日	9	14	18	13	28	23	28	23	17	15	24	18	230
計	22	58	53	50	58	50	79	74	64	84	88	63	743

(9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、障がい児に対し長期休暇や放課後の預かり、保護者のレスパイト支援の一環として、障がい児やその家庭の福祉向上を図るために、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	4	3	4	7	6	7	12	5	8	8	6	10	80

(10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 施設連絡会議（毎月2回） | 2. 行事会議（随時） |
| 3. ケース会議（随時） | 4. 家庭児童相談課との会議（判定会議等） |
| 5. 処遇会議（毎日） | 6. 給食会議（月1回） |
| 7. 総括会議（年度末） | |

(11) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

実施日	想定災害	訓練内容	参 加 者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月27日	火 災	避 難 訓 練	11	0	9	20
5月18日	〃	〃	21	5	12	38
6月22日	〃	総合消防訓練	18	15	19	52

7月18日	〃	避難訓練	17	0	13	30
8月31日	〃	〃	25	8	16	49
9月20日	〃	〃	16	6	17	39
10月25日	〃	〃	20	4	12	36
11月15日	〃	〃	24	6	12	42
12月20日	〃	〃	24	8	11	43
1月10日	地震	〃	22	7	16	45
2月14日	火災	〃	25	8	13	46
3月14日	〃	〃	24	8	14	46

(12) 防犯安全対策

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

実施日	参加人数
5月23日	17名

(13) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主催	職種
6月1日	大阪府茨木保健所管内集団給食研究会研修会	茨木市	大阪府	栄養士
6月12日	第1回感染症・食中毒予防対策講習会	大阪市	社会福祉協議会	〃
6月17日	LGBTの理解と支援 基礎から学ぶ応用行動分析	〃	大阪府臨床心理士会	心理士
6月19日	指定障がい児支援事業者等集団指導	〃	大阪府	施設長
7月9日	安全運転管理者等講習会	摂津市	〃	〃
7月12、13日 9月5、14日 10月1日	大阪府相談支援従事者初任者研修	堺市	〃	児童指導員
7月19日	食中毒予防講習会	茨木市	大阪府	栄養士

7月30日	第1回北摂ブロック栄養士研究会	摂津市	茨木市	栄養士
8月2日	摂津支援学校公開研修会	〃	摂津支援学校	相談支援員
8月21日 9月25、26日	大阪府サービス管理責任者等研修	堺市	大阪府	保育士
8月28日	災害危機管理研修会	吹田市	〃	栄養士
9月13日	児童福祉施設研修会（食事提供）	大阪市	〃	〃
10月5日	第2回北摂ブロック栄養士研究会	摂津市	茨木市	〃
10月25日	大阪府相談支援従事者専門コース 医療的ケアコース	高槻市	大阪府	相談支援員
11月1日	第2回北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	茨木市	栄養士
11月28日	特定給食講演会	大阪市	大阪府	〃
11月30日	ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会	和歌山市	厚生労働省	〃
12月22日	小児在宅医療支援ネットワーク研修会	茨木市	大阪府	相談支援員
1月25日	大阪府相談支援従事者専門コース 医療的ケアコース	大阪市	大阪府	相談支援員
2月6日	大阪府茨木保健所管内集団給食研究会研修会	茨木市	〃	栄養士
2月26日	第4回北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	〃	栄養士

（14）施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
2月1日～2月15日 2月19日～3月4日	京都光華女子大	保育実習	1

(15) 他機関との連携

① 子育て支援ネットワーク推進会議

実施日	事業名	出席者
5月29日、11月12日 2月12日	第五中校区地域教育協議会 役員会	施設長
5月25日	子育て支援ネットワーク推進会議代表者 会議	〃
5月29日、3月5日	第五中校区地域教育協議会 総会	〃
6月6日、9月21日 3月5日	地域子育て連絡会実務担当者会議	心理士
7月12日、11月8日、 1月10日、2月7日	第五中校区地域教育協議会 子育て支援 部会	施設長
7月25日	鳥飼地区子育て支援活動担当者会議	心理士
11月5日	オレンジリボン街頭キャンペーン	施設長
1月20日	第五中校区連携事業 たこづくり・たこあげ・ゲーム大会	施設長他
1月29日	親子ランド in 鳥飼 会議	心理士
3月19日	親子ランド in 鳥飼	心理士 保育士

平成30年度も第五中校区連携事業たこあげ・ゲーム大会は、地域の団体と連携して校区の鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校、とりかい遊育園、とりかいひがし遊育園、そして当園の対象児が一堂に会し楽しむ事ができた。

② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施する。

実施日	内容	参加事業所	開催場所
10月17日	個別支援計画について	10事業所	児童発達支援センター

③ その他

＊摂津市要保護児童対策地域協議会

つくし園在園児の家庭での様子や親子関係から虐待の疑いがある場合は、要保護児童対策地域協議会と連携をとり、情報交換をして子どもの安全に努めた。

＊アフターケア

卒園児が就学した小学校へ担当者が出向き、就学先や卒園児保護者からの相談に対応した。また、退園児が入所した保育所にも担当者が出向き、アフターケアを行った。また運動会や発表会等の行事に出向いたり、他機関との接点がある度に、関係者から情報を収集するなどして卒退園児の状況把握に努めた。

＊ボランティア

夕涼み会にて人形劇にボランティアグループのころりんぽっけ4名と千里リコーダーアンサンブル6名の参加を得た。

＊職業体験

市内の中学校の二年生を対象とした取組みである職業体験学習を二日間受け入れた。

実施日	学校名	参加者
11月15日、16日	市立第五中学校	女子2名

(16) 大阪北部地震及び台風による被害

平成30年6月18日午前7時58分に発生した大阪北部地震は、利用児の登園前に発生し緊急連絡網（メール）を使用して臨時休園の連絡及び安全確認を行った。

大きな揺れのため、給食調理で使用しているガスの配管設備の安全装置が作動しガスが遮断され、給食の下処理も行うことが出来なかったが、夕方にガス供給会社による安全確認後復旧された。被害としては、園舎正面右側にある私道との境界のフェンスが私道側に傾き倒壊のおそれがあるため注意喚起の張り紙を行った。また、コンクリート壁の一部に亀裂が入ったものの、後日摂津市の建築課による建物検査の結果、安全に問題はないと判断された。

平成30年9月4日の台風21号は、大阪府直撃の進路となり、暴風の影響で当建物前に設置しているカーポート屋根、駐輪場の屋根が吹き飛ばされ一部は回収をすることが出来たものの一部は発見することが出来なかった。また、園庭に設置している低木2本が傾き、下駄箱3台も風で飛ばされ、換気扇のシャッター部分から建物内に風、ゴミ、雨水が入った。

地震及び台風の関係により、予め定めていた緊急措置及び安全確認のためにそれぞれ2日間臨時休園の措置をとった。

Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」

(1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通所利用の障がい児に対する支援を行う身近な療育の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の利用児の相談支援及び行政機関（保健福祉課、子育て支援課）で受け付けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿った訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

摂津市保健福祉課、子育て支援課からの依頼のケース観察・評価が年間77件、保育所の巡回指導が7件、小学校の巡回指導及び来園相談が33件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応じていけるよう更なるサービスの向上を図っていく。

(2) サービスの状況

① 理学療法

グループ練と個別訓練を発達段階に応じて実施した。グループ訓練では保護者指導もかねて、母子で訓練を行った。利用児への対応と発達段階の認知など、子どもが学習をして発達していく段階をスムーズに認知できるよう促した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

児童発達支援事業として母子ともに、めばえ園を利用しての日中活動が必要なケースに対し、グループ訓練を実施した。対象児は「目と手の協応・運動の協調性などに課題を

もち、小集団でのきめこまやかな援助・指導を必要としている幼児」で、発達的な課題のみならず、環境的な要因からくる課題や、能力的なばらつき等も「障がい」とみなし、利用する子どもも「障がい児」としてサービス提供をしてきた。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請についての援助を行った。

⑦ 家庭との連携

園と家庭との連携において、訓練には母子で来園することにより利用児への対応と発達段階をより理解し、子どもが学習し発達していく過程をしっかりと受容できるよう促すとともに、共通の認識を持ち正しく利用児を理解できるよう努めてきた。

毎月1回施設だよりを掲示し、必要に応じた電話連絡等により家庭との連絡を取り合ってきた。

⑧ 関係機関との連携

就園、就学した利用児について、受け入れ機関との連携により担当者が訓練場面の見学のために来園したり、こども教育課の春・秋期の保育所巡回指導で理学療法士と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。つくし園児の進路指導においても、必要に応じて助言をした。

また、訓練に双方の職員が入り意見交換を行うなど、利用児がつくし園に入園した場合、常時連携に努めた。

(保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
6月5日	鳥飼保育所
6月7日	私立 鳥飼さつき園
6月12日	私立 ひかりにこ保育園
10月23日	子育て総合支援センター
10月25日	私立 藤森保育園
10月26日	べふこども園
10月29日	鳥飼保育所

(来園相談・見学)

実施日	対象機関
5月1日、11月19日	三宅柳田小学校
5月14日、5月22日 6月22日、11月26日 12月12日、12月13日	鳥飼西小学校
10月15日、11月12日 12月5日、1月11日	別府小学校
10月16日、11月8日 12月6日、12月18日 1月10日、1月15日	味舌小学校
11月1日、12月1日 12月21日	鳥飼小学校
11月6日、12月14日	千里丘小学校
11月9日、12月4日 12月7日	摂津小学校
11月13日、11月22日	鳥飼東小学校
11月15日	鳥飼北小学校
11月20日、11月27日 12月19日、12月20日	味生小学校

(他機関への講師派遣)

実施日	派遣先
7月5日	鳥飼保育所
10月19日	三宅柳田小学校

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた。特に衛生状態には、細心の注意を払い対応した。

(4) 通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
4	20	57	54	111
5	20	58	64	122
6	19	60	80	140
7	21	52	71	123
8	18	56	74	130
9	18	37	67	104
10	22	43	69	112
11	21	34	72	106
12	19	26	77	103
1	19	14	88	102
2	19	10	94	104
3	20	17	94	111
合計	236	464	904	1,368

(5) サービス別の利用状況

(人)

	サ ー ビ ス 別							観察	つくし 個別 指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		グループ 訓練			
	放	児	放	児	放	児	水			
4	6	9	36	25	15	8	12	11	0	122
	15		61		23					
5	7	9	39	29	12	6	20	5	10	137
	16		68		18					
6	7	12	40	31	13	10	27	5	10	155
	19		71		23					
7	5	7	38	31	9	11	22	4	10	137
	12		69		20					
8	4	11	36	33	16	11	19	12	10	152
	15		69		27					
9	0	0	28	37	9	13	17	4	9	117
	0		65		22					

10	0	0	31	35	12	12	22	4	10	126
	0		66		24					
11	0	0	25	36	9	13	23	8	11	125
	0		61		22					
12	0	0	18	37	8	13	27	8	9	120
	0		55		21					
1	0	0	7	45	7	11	32	6	8	116
	0		52		18					
2	0	0	5	46	5	17	31	5	8	117
	0		51		22					
3	0	0	9	50	8	18	26	5	9	125
	0		59		26					
合計	29	48	312	435	123	143	278	77	104	1, 549
	77		747		266					

※「放」…放課後等デイサービス、「児」…児童発達支援事業

(6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. めばえ意見書会議（年2回）
3. 家庭児童相談課との会議（判定会議、随時）
4. 行事会議（随時）
5. 処遇会議（毎日）

(7) 災害防止対策（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(8) 防犯安全対策（つくし園と同様）

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し、環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

(9) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主 催	職 種
10 月 23、24 日	大阪府相談支援従事者 初任者研修	堺市	大阪府	保育士
10 月 26 日 12 月 18、19 日	大阪府サービス管理責任者 等研修	大阪市	〃	保育士

4 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）・地域生活支援事業の移動支援の各事業を実施した。

自立訓練では、開設2年目を迎え地域生活を送るうえで必要な生活や社会スキルの習得を目指し、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適正とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。

就労移行支援では、より実践的な職業訓練・就職活動等の就職に向けた取り組みを提供し、就労後においても定着支援に努めた。

そして、就労継続支援B型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」、その他請負作業を行い昨年度以上に充実した取り組みができた事によって工賃がアップし、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整え、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。

今年度は、地震や台風の被害で施設に大きな破損が生じ、室外機の転倒や屋根の剥離などがあり、利用者が安全に安心して登園できるよう危険個所を把握し修繕を行った。今後も自然災害に対して迅速かつ適切に対応できるよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを狙いとし、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように努めた。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。その中でも、構造化を実施することで利用者が安心でき理解しやすい環境を整えた。支援にあたっては、写真や絵カードを使用したワークシステムを作成した。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全面の確保をするために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきクラスの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。欠席が続く利用者には、活動の楽しさを体感してもらい登園に結びつけることを目的でプール（摂津市立温水プール）プログラムを実施した。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や自立を目的とした構造化を行い、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。音楽療法・調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取り組んだ。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき等の関係機関や、定期的に就労支援機関事業所連絡会や摂津市就労ネットワーク会議にも参加し連携を強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注により作業指導の活性化を図った。(株)ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき昨年に引き続き今年度も品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業(食品トレイ選別作業)に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

小型家電リサイクル事業を環境業務課・障害福祉課の協力の下、パソコンの解体に取り組む事で作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練(生活訓練)では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期(1年目)、後期(2年目)の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援センターウイング・就労移行支援等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。

① 作業訓練と還元金の配分

個別支援計画(就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し)に沿った支援を実施した。

就労移行支援では、陶芸と園芸作業、就労継続支援B型では、軽作業(電気部品の加工作業、小型家電解体作業)と食品トレイ選別作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容(自治会・情報提供・運動)を実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課や相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課・生活支援課・相談支援事業所・その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、「健康で安心・安全な生活が送れるよう」通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・ 園芸

ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜を栽培しバザーで販売した。また、園芸作業の一環としてふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

■就労継続B型

・ 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキョーサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業を行った。また、2ヵ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組んだ。その他、年度途中で新たに地図作業を取り入れることで作業量も安定し、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・ 食品トレイ選別作業

摂津市内から集められた食品トレイを、分別・選別を行い、リサイクルとゴミに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・ 小型家電リサイクル作業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希

少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。
作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

就労移行支援、就労継続支援B型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
10月2日	ハローワーク茨木	ハローワーク茨木	2
10月3日	障害者就職面接会	マイドームおおさか	2
11月7日	ハローワーク茨木	ハローワーク茨木	2
12月26日・27日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	1

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	参加者
株式会社パル	店舗内倉庫作業	吹田市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行支援

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	851,300	
園芸作業	52,240	
清掃作業	181,440	(株)セラ
空缶・古紙回収	70,535	
収 入 合 計	1,155,515	

■就労継続支援B型

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
電気部品の加工作業	604,720	(株)ダイキンサンライズ摂津

電気設備部品の加工作業	393,394	サンキョーサポート
建設会社DM作業	100,270	エッグ住まいる工房
地図作業	19,279	中村製本紙工
ティッシュ袋詰め等請負作業	75,000	官公庁等
小型家電解体作業	575,935	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレイ選別作業	8,812,520	環境業務課
収 入 合 計	10,581,118	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(単位：円)

月	工賃支給総額	作 業 内 容	利用者数	平均工賃
4	8,816	陶芸・園芸等	3	2,939
5	7,986	陶芸・園芸等	2	3,993
6	7,474	陶芸・園芸等	2	3,737
7	8,600	陶芸・園芸等	2	4,300
8	47,038	陶芸・園芸等 一 時 金	2	23,519
9	9,232	陶芸・園芸等	2	4,616
10	8,502	陶芸・園芸等	2	4,251
11	8,064	陶芸・園芸等	2	4,032
12	45,642	陶芸・園芸等 一 時 金	2	22,821
1	4,526	陶芸・園芸等	2	2,263
2	6,676	陶芸・園芸等	2	3,338
3	34,874	陶芸・園芸等 一 時 金	2	17,437
総 計	197,430	陶芸・園芸等 一 時 金		97,246

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 / ヶ 月
197,430	8,104

■就労継続B型支援（軽作業・食品トレイ選別作業）

（単位：円）

月	工賃支給総額	各作業工賃		利用者数	平均工賃
4	768,270	軽作業	85,250	17	45,192
		食品トレイ選別作業	683,020		
5	838,548	軽作業	85,238	17	49,326
		食品トレイ選別作業	753,310		
6	827,639	軽作業	81,429	17	48,685
		食品トレイ選別作業	746,210		
7	816,046	軽作業	81,906	17	48,003
		食品トレイ選別作業	734,140		
8	1,000,075	軽作業	78,478	17	58,828
		一時金	166,867		
		食品トレイ選別作業	754,730		
9	722,572	軽作業	76,472	17	42,504
		食品トレイ選別作業	646,100		
10	919,162	軽作業	75,682	17	54,068
		食品トレイ選別作業	843,480		
11	801,660	軽作業	76,750	17	47,156
		食品トレイ選別作業	724,910		
12	958,021	軽作業	75,000	17	56,354
		一時金	148,171		
		食品トレイ選別作業	734,850		
1	766,277	軽作業	74,737	17	45,075
		食品トレイ選別作業	691,540		
2	802,408	軽作業	73,948	17	47,200
		食品トレイ選別作業	728,460		
3	1,444,760	軽作業	76,500	17	84,986
		一時金	596,490		
		食品トレイ選別作業	771,770		
総計	10,665,438	軽作業	941,390		627,377
		一時金	911,528		
		食品トレイ選別作業	8,812,520		

工賃支給総額	平均工賃 / ヶ月
10,665,438	52,281

(3) 行 事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場면을導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
10月27日	摂津宥和会 運動会 雨天中止	市立三宅柳田小学校		法人内の施設の利用者・OB とボランティアが参加の運動会。
12月6日	ジャンボクリスマス会	摂津市立身体障害者・老人福祉センター集会室	利用者 生介 30 移行 2 B型 15 自立 6	大阪人間科学大学人間科学部子ども保育学科「チームぽしえっと」による演奏を楽しんだ。
12月9日	風船バレーボール大会	市立味舌小学校	利用者 生介 9 移行 1 B型 7 自立 7	市・市身体障害者福祉協会主催。希望者で参加した。
2月16日 ～2月21日	つくっ展と輝けコンサート	市立コミュニティプラザ	利用者 生介 23 移行 1 B型 13 自立 7 一般 120	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
6月8日	懇親会	作業室C	利用者 24 家 族 10	利用者・家族・職員が一同に会して、音楽療法を楽しみながらコミュニケーションを図ることを目的とする。

7月12日	園外活動	鶴見緑地公園プール	利用者 5	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
9月19日		京阪錦鯉センター	利用者 5	
9月26日		〃	利用者 4	
11月14日		新名神宝塚サービスエリア	利用者 4	
11月22日		スパワールド	利用者 4	
1月23日		木下大サーカス	利用者 3	
3月6日		鶴見緑地	利用者 2	
3月14日	スプリングフェスタ	作業室C	利用者 27 家 族 9	1年間の終わりに利用者・家族・職員が一同に会して、コミュニケーションを深めることを目的とする。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
7月19日	食事会	八幡家（流れ橋交流プラザ四季彩館内）	利用者 4	園外に出て、食事を楽しむことで、潤いのある園生活を送ることを目的とする。
8月8日		ROSSO 豊中	利用者 3	
8月10日		遊食遊膳笹庵	利用者 3	

② 社会見学

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月13日	社会見学	パナソニックミュージアム 大日イオン	利用者 3	日常生活で、外出が困難な利用者が園外に出て、経験の枠を広げ潤いのある園生活を送ることを目的とする。
12月7日		海遊館	利用者 4	
12月13日		ダスキンミュージアム	利用者 4	

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11 月 8 日	体験学習	津波・高潮ステーション	利用者 移行 1 B型 17 自立 5	利用者の意見を企画に反映させることで行事に対する意識を高めると共に経験の拡大を目的とする。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。
給食試食会	11 月 8 日	平成29年度に行った嗜好調査及び利用者アンケートにおいて、日頃施設で提供している昼食を知りたいとの要望があり試食会を開催した。「給食」への理解を深めて頂き、また、自宅での献立の参考にしてもらった。
家族会	5 月 15 日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12 月 14 日	年末の大掃除・グループホーム勉強会
	3 月 25 日	グループホーム見学会
機関紙	毎月 1 日 発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月 1 日に発行した。
月課表	毎月 1 日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。 登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 福祉事務所との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図った。

看護師の来園時（月2回）、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるように努めた。

① 環境整備

○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理

○薬箱・体温計の整理・管理（作業室C） ○医薬品管理

○業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒

○マスク

② 健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 理学療法士による運動プログラム
- 配慮食・きざみ食の提供
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

③ 服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

- （ア）保健だより 年 3 回発行 （イ）通院状況表
- （ウ）服薬調査表 （エ）健康チェックカード

⑤ 健康診断

- （ア）内科医検診

検 診 日	6 月 5 日	11 月 26 日
-------	---------	-----------

- （イ）血圧・脈拍測定

検 診 日	毎月 1 回
-------	--------

*検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

- （ウ）その他検診、検査

歯科検診

検 診 日	7 月 17 日
-------	----------

検尿

検 診 日	5 月 11 日	9 月 11 日
-------	----------	----------

（7）給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。

給食業務をウオクニ株式会社に委託して 15 年目となり、月 1 回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。

また、研修会などへの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

また、サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映し、今年度は 11 月に家族向けの給食試食会を実施した。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1. 給食会議の充実 | 2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月１回） |
| 3. 残食検査の実施 | 4. 食事提供状態の充実 |
| 5. 研修会の参加 | 6. 衛生管理の充実 |

（８）利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護（人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在 籍 者 数 (人)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
支 援 日 数 (日)	20	21	21	21	23	17	22	21	20	19	20	20	245
延 利 用 数 (人)	466	488	484	504	512	407	535	504	446	437	457	467	5707

■生活介護（かがやき）（人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在 籍 者 数 (人)	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	12	11	
支 援 日 数 (日)	20	21	21	21	23	17	22	21	20	19	20	20	245
延 利 用 数 (人)	65	74	68	73	75	62	81	83	73	61	70	61	846

■就労移行支援（人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在 籍 者 数 (人)	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
支 援 日 数 (日)	20	21	22	21	23	18	22	22	20	19	20	20	248
延 利 用 数 (人)	43	40	37	42	51	50	47	42	33	26	36	40	487

■就労継続支援B型

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
支援日数 (日)	20	21	21	21	23	17	22	21	20	19	20	20	245
延利用数 (人)	312	333	327	323	338	263	339	320	300	284	302	310	3751

■自立訓練（生活訓練）

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	5	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	
支援日数 (日)	20	21	21	21	23	17	22	21	20	19	20	20	245
延利用数 (人)	94	116	107	79	96	87	111	111	126	111	133	122	1293

②年齢別（平成31年3月31日現在）

■生活介護

(人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	3	3	3	10	19
女	0	1	1	7	9
計	3	4	4	17	28

■生活介護かがやき

(人)

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	0	3	0	0	0	2	5
女	1	1	0	2	2	0	6
計	1	4	0	2	2	2	11

■就労移行支援

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	0	1	0	1
女	0	0	1	0	1
計	0	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	4	1	5	10
女	0	0	1	6	7
計	0	4	2	11	17

■自立訓練（生活訓練）

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	1	1	1	3
女	0	3	0	1	4
計	0	4	1	2	7

③手帳の所持

(ア)療育手帳（平成 31 年 3 月 31 日現在）

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	19	0	0	19
女	9	0	0	9
計	28	0	0	28

■就労移行支援

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
計	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	4	5	1	10
女	1	5	1	7
計	5	10	2	17

■自立訓練（生活訓練）

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	1	1	1	3
女	0	4	0	4
計	1	5	1	7

(イ) 身体障害者手帳 （平成 31 年 3 月 31 日現在）

■生活介護

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	0	3	0	1	4
女	1	1	0	1	3
計	1	4	0	2	7

■生活介護かがやき

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	4	1	0	0	5
女	2	4	0	0	6
計	6	5	0	0	11

(ウ) 障害支援区分 （平成 31 年 3 月 31 日現在）

■生活介護

(人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	計
男	4	4	9	2	19
女	1	4	4	0	9
計	5	8	13	2	28

■生活介護かがやき

(人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
男	0	1	3	1	0	5
女	1	1	2	1	2	7
計	1	2	5	2	2	12

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議 (月 2 回)
2. 運動会実行委員会 (随時)
3. 作品展実行委員会 (随時)
4. 職員会議 (随時)
5. ケース会議 (随時)
6. 給食会議 (毎月 1 回)
7. サービス向上委員会 (毎月 1 回)
8. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時)
9. リーダー会議 (随時)

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年 2 回実施した。また、緊急時の備蓄品として飲料水とアルファ化米を購入した。

実施日	想定 災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生 活 介 護	就 労 移 行	就 労 B 型	自 立 支 援	
4 月 26 日	火災	火災報知器を鳴らして避難訓練	24	1	16	4	21
5 月 14 日	〃	〃	24	2	9	6	18
6 月 26 日	震災	〃	23	1	9	5	20
7 月 10 日	火災	ふれあいの里消防総合訓練	26	2	9	6	22
8 月 9 日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	26	2	8	6	17
9 月 11 日	震災	〃	23	2	9	4	18
10 月 15 日	火災	〃	24	2	6	4	16
11 月 27 日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	25	1	8	6	20
12 月 12 日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	22	1	7	6	20
1 月 17 日	震災	〃	21	1	7	5	18

2月5日	火災	〃	20	2	8	7	17
3月11日	震災	〃	24	2	6	6	18

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
5月25日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	枚方市市民会館	大阪府	支援員
7月10日	平成30年度福祉車両安全運転講習会	大阪国際交流センター	一般社団法人 日本福祉車両協会	運転手
7月24日 25日	第41回てんかん基礎講座	大阪商工会議所	公益社団法人 日本てんかん協会	支援員
8月30日	平成30年度就労移行等連携調整事業 第1回就労系障がい福祉サービス事業所対象セミナー～就労支援の在り方を考える～	大阪赤十字会館	府福祉部障がい福祉室自立支援課就労・IT支援グループ	支援員
8月31日	安全運転管理者講習	高槻市総合センター	大阪府公安委員会	施設長
9月12日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府立男女共同参画青少年センター（ドーンセンター）	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月3日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月26日	平成30年度「大阪府サービス管理責任者等研修」（全体研修）	エル・おおさか	一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	支援員

11月7日	平成30年度高次脳機能障害専門研修「明日から役立つ!高次脳機能障害へのアプローチ」	京都労働者総合会館ラボール京都	京都市高次脳機能障害者支援センター	支援員
11月15日	平成30年度 第2回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	大阪府社会福祉協議会	支援員
11月29日 30日	平成30年度「大阪府サービス管理責任者等研修(知的・精神)」	エル・おおさか	一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	支援員
12月1日 2日	2018年度社会福祉士実習指導者講習会	関西大学堺キャンパス	公益社団法人 大阪社会福祉士会	支援員
12月3日	平成30年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
12月11日	平成30年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	〃	支援員
12月11日 12日 13日 14日	平成30年度第2回就業支援基礎研修	大阪障害者職業センター	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	支援員
12月23日 24日	発達・知的障がい者支援職員対象 SST ファーストレベル研修会	大阪社会福祉指導センター	NPO 法人地域生活支援ネットワークケアサポート	支援員
1月16日	平成30年度第2回機関研修(知的障がいと発達障がいを重複する方への就労支援について)	大阪急性期総合医療センター	大阪府障がい者自立相談センター	支援員
2月13日	平成30年度第4回講演会 「施設におけるコンプライアンス～虐待・ハラスメント・クレームへの対策」	ホテルアウイーナ大阪	公益社団法人 大阪介護老人保健施設協会	支援員
2月20日	2018年度 実習懇話会	大阪ガーデンパレス	大阪人間科学大学	施設長

3月9日	自閉症支援を生活の隅々に これからの強度行動障害支援～実践報告～	大阪社会福祉指導センター	特定非営利活動法人自閉症 e サービス	支援員
------	----------------------------------	--------------	---------------------	-----

② 専門研修(栄養士研修)

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
6月1日	平成30年度大阪府茨木保健所管内集団給食研究会総会	茨木市民総合センター	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	栄養士
6月12日	平成30年度 第1回感染症・食中毒予防対策講習会	クレオ大阪中央館ホール	大阪府社会福祉協議会	〃
7月19日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	〃
8月28日	災害危機管理研修会	大阪府吹田保健所	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	〃
11月28日	特定給食講演会Ⅱ	住吉区民センター大ホール	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課保健予防・歯科・栄養グループ	〃
1月27日	脳卒中の異常歩行の特徴に対する評価とリハビリ	尼崎中小企業センター	株式会社 Rebel Flag	理学療法士

③ 施設内研修

研修日	研修名	講 師	職種
6月15日	平成30年度衛生研修	(株)イーズニック	施設長他
7月18日	セクハラ・パワハラのない職場環境づくりのために	特定社会保険労務士 板東嘉子氏	施設長他
9月12日	職場のハラスメント防止についての基本理解と留意事項	大阪府総合労働事務所相談課 遠藤主任専門員	施設長他
11月28日 12月18日 25日	感染症予防対策講習会伝達研修	支援員	支援員

(12) その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。

実施日	行事名	参加団体	人数
12月6日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども保育学科	8
2月16日	第18回 つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合 北摂支部	6

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6月11日～15日	大阪府立柴島高校	自立訓練	1
7月23日～27日	摂津支援学校	就労移行	1
8月27日～31日	摂津支援学校	就労移行	1
8月29日～30日	茨木支援学校	生活介護	1
9月3日～7日	摂津支援学校	就労移行	1
9月10日～14日	摂津支援学校	就労移行	1
10月17日～19日	摂津支援学校 (2年生)	就労継続支援B型 自立訓練	1
10月29日～11月2日	摂津支援学校	就労移行	1
11月14日～16日	摂津支援学校 (2年生)	就労継続支援B型 自立訓練	1
12月5日～7日	摂津支援学校 (2年生)	就労継続支援B型 自立訓練	1
2月7日	茨木支援学校 (2年生)	生活介護	1
2月21日～22日	摂津支援学校 (2年生)	生活介護	1
2月26日～28日	摂津支援学校 (2年生)	自立訓練	1
3月4日～6日	摂津支援学校 (2年生)	自立訓練	1
3月11日～13日	摂津支援学校 (2年生)	就労継続支援B型	1

(職場体験実習)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
6月7日・8日	摂津市立第三中学校	就労移行	2

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

(13) 日中一時支援事業

地域生活支援事業の日中一時支援サービスとして、障がい児・者に対し、長期休暇や放課後の預かりや、作業所利用者の平日休曜日や在宅障がい者の日中活動の場の確保やご家族のレスパイトを目的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援など、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

② 事業の状況

*移動支援サービスの提供状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	15	12	13	12	14	18	14	15	15	14	10	15	167
	時間	113	85.5	93.5	84	100	128.5	98.5	115	103.5	97.5	69	109	1,197
	平均	7.5	7.1	7.2	7.0	7.1	7.1	7.0	7.7	6.9	7.0	6.9	7.3	7.2
身体介護なし	件数	6	8	5	4	4	6	2	5	1	1	4	2	48
	時間	41	58	37	26	30	42.5	13.5	36.5	7	7.5	30	16	345

	平均	6.8	7.3	7.4	6.5	7.5	7.1	6.8	7.3	7.0	7.5	7.5	8.0	7.2
合 計	件数	21	20	18	16	18	24	16	20	16	15	14	17	215
	時間	154	143.5	130.5	110	130	171	112	151.5	110.5	105	99	125	1,542
	平均	7.3	7.2	7.3	6.9	7.2	7.1	7.0	7.6	6.9	7.0	7.1	7.4	7.2

＊利用者契約者の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

		人 数	合 計
障害種別	知的障害	50	55
	身体障害	5	
	精神障害	0	
身体介護あり		30	55
身体介護なし		25	

＊主催事業

利用者からの要望をもとに外出先を企画し、支援を行った。

③ 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

研修日	研修名	場 所	参加人数
7 月 24 日 25 日	第 41 回てんかん基礎講座	大阪商工会議所	1
11 月 15 日	平成 30 年度 第 2 回感染症予防 対策講習会	クレオ大阪中央	1

④ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

実施日	内 容	参加人数
5 月 7 日	会議（計画書等書類の書き方・グループ支援について）	10
5 月 31 日	会議（ニーズ調査）	8
7 月 21 日	〃	11
9 月 3 日	〃	12

11 月 12 日	〃	10
3 月 22 日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	12

（１５）大阪北部地震及び台風による被害

平成 30 年 6 月 18 日に発生した大阪北部地震では、地震発生後、直ちに利用者と家族及び職員の安否確認を行う一方、建物の被害状況の把握と安全確保に努めた。利用者に負傷者は出なかったが、園舎に亀裂が入る等の被害が発生した。

平成 30 年 9 月 4 日の台風 21 号では、暴風の影響で、園舎屋根材の剥離、屋上室外機の破損、園舎の渡り廊下の屋根が破損する等、大きな被害が発生した。

5 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

(1) 概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営において職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の良い施設づくりに力を注いだ。施設の立地状況から、市内無料巡回バス セッピー号や路線バスの到着時間に合わせて事業開始時間を設定しながら、利用者の「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」を中心とした主催事業を展開してきた。

主要事業である「福祉センターまつり」では、特に利用者に携わっていただき「利用者」と職員との協働で、行う形とした。そして、つどい場事業では、コーヒーやおやつをいただいたり、軽スポーツやカラオケを楽しんだり、認知症予防の脳トレ体操や、クラフトの日を設定するなどし、興味を持ち「つどって」いただけるように様々な内容を取り入れた。

今年度については、裁縫などに興味のある方々を募り、十数名の“手芸ボランティア”が発足した。作っていただいた作品は、施設内行事にとどまらず他施設行事での賞品に活用するなどした。また、健康体操同好会の皆さんに“皆勤賞”を提案するなどし、利用者の“やりがい”や“活動意欲”につなげた。各種講座・事業の広報活動で、市広報の掲載やチラシ配布等を行うことに加え、時代のニーズに合わせ「施設のホームページの充実」にも取り組んだ。そして、これまでと同様に、同好会や自主グループへの支援や育成に力を注いだ。

(2) 利用について

① 利用対象

- ・市内在住の身体に障がいのある方
- ・市内在住の60歳以上の方

② 利用手続

- ・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受け付ける。

③ 開館時間

- ・8時45分から17時15分まで

④ 休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日～1月5日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

① 年間主催事業

(ア) 長期主催事業

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
健 康 体 操 (新規)	4 月 12 日～3 月 28 日 (24 回) 毎月第 2・4 木曜日 13:00 ～ 14:00	11
カラオケ教室	4 月 4 日～3 月 20 日 (24 回) ①毎月第 1・3 水曜日 10:00 ～ 12:00	24
	4 月 4 日～3 月 20 日 (24 回) ②毎月第 1・3 水曜日 12:45 ～ 14:45	13
つどい場&カラオケ教室	4 月 4 日～3 月 27 日 (49 回) 毎週水曜日 10:00 ～ 12:00 (第 3 週のみ 12:45 ～14:45) ※6 月 20 日大阪府北部地震の為、中止	74 15 (ボランティア)

(イ) 受託事業

●いきいきカレッジ

『人生はこれからだ！生涯現役』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいつくりや仲間づくりを行う場として開講した。6 月 1 日にコミュニティプラザにて、せつつ桜苑講座との合同開講式を行った。一部式典に続いて、二部 木管アンサンブルによる「音楽鑑賞」を行った。

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
いきいきカレッジ (老人大学)	6 月 1 日 ～ 11 月 16 日 (20 回) 毎週金曜日 10:30 ～ 15:00	37

1 一般教養科目

	月 日	講 演 名	講 師 名
1	6 月 8 日	「人生を笑顔で過ごす ～人も脳もネットワークが大事～」	レクリエーションコーディネーター 郡 真由美 氏
2	6 月 15 日	「交通安全について」 「特殊詐欺について」	摂津警察署 交通課 山田 利之 氏 生活安全課 香川 和彦 氏
3	6 月 29 日	「健康とスポーツ 運動器のセルフケアと超・私的健康論」	兵庫県立加古川医療センター リハビリテーション科部長 柳田 博美 氏

4	7月6日	合同・公開講座（せつつ桜苑） 「フレイル予防について」	大阪 YMCA アジア福祉人材育成センター 重信 直人 氏
5	7月13日	「我が家でのバリアフリー及び 防災対策のポイントについて」	DIY アドバイザー関西
6	9月7日	「熟年世代からの財産管理～自分の お金を最後まで自分と家族のために 使う方法～」	近畿財務局より 大阪弁護士会 弁護士 坂本 雄一 氏 須貝 信之丞 氏
7	9月14日	合同・公開講座（コミュニティプラザ） 「ボランティアの心構え」	大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 小林 政夫 氏
8	10月5日	「水まわりの点検・補修について」	DIY アドバイザー関西
9	10月19日	「太極拳をやってみよう」	太極拳講師 棚橋 真由美 氏
10	11月2日	「スマホ・ケータイ安全教室」	NTT ドコモ
11	11月9日	「ゆっくり楽しく地域コミュニティー ～京都府大山崎町から～」	大山崎重要文化財ネットワーク 事務局長 寺嶋 千春 氏

※社会見学 10月26日 堺市方面

・大阪ガス科学館 ・堺市役所21階展望ロビー ・さかい利晶の杜 ・堺伝統産業会館

2 専門科目

科 目	内 容
ものづくりを楽しんでみよう 科	ミニらんま作り・銅板レリーフ作り・溶接・陶芸
笑顔で体操しよう科	ひざ痛/腰痛/肩こり/股関節痛の予防改善体操・転倒予防体 操・失禁予防・メタボリックシンドロームの予防と改善・ロ コモティブシンドロームの予防と改善・介護予防・介護予防 理論・雑学など
パソコンを始めてみよう科	電源の入れ方から・マウスの練習・文字入力・ワードでの文 章入力/文章作成・インターネット/メール・カレンダーの作 成など
パソコンをもっと知ろう科	入力の基礎・(ワード)文章の編集・表の作成や編集・グラフ ィックスの利用・差し込み印刷・インターネット/電子メー ルの利用・Google アカウントの作成・音楽の取り込みやオリ ジナル CD の作成・インターネットプログラムのダウンロー

	ドやインストール・年賀状の作成・(エクセル)データ入力と 計算・便利機能と簡単家計簿作りなど
--	---

1 1 月 1 6 日にふれあいの里にて閉講式を開催し、式典、学習成果発表会及び懇親会を行った。

3 いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

・申込者数

専門科目	人数
ものづくりを楽しんでみよう科	5
笑顔で体操しよう科	15
パソコンを始めてみよう科	11
パソコンをもっと知ろう科	9
合 計	40

・受講者数

専門科目	男性	女性	合計
ものづくりを楽しんでみよう科	1	3	4
笑顔で体操しよう科	2	13	15
パソコンを始めてみよう科	1	9	10
パソコンをもっと知ろう科	2	7	8
合 計	5	32	37

●はつらつ元気でまっせ講座

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
はつらつ元気でまっせ講座 (介護予防講座)	第15集会所 3月27日(29年度事業・一年後チェック)	11
	第35集会所 11月6日～12月11日(6回) 1月15日(一か月後)	15 92(延べ)

(ウ) 短期主催事業

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
初級パソコン講座	11 月 29・30 日 13:30 ～ 15:30	28

(エ) 単発事業

実施日	事 業 名	場 所	参加者	内 容
9 月 15 日	福祉センターまつり	福祉センター	約 260 人	前日準備・当日の仕事・片づけ等分担し、利用者と職員、そして、他施設職員との協働で開催。演芸大会、各同好会の作品展等の催し
1 月 31 日 2 月 1 日	ふれあいの里 バスツアー	愛知県方面	73 人	名古屋城本丸御殿・金シャチ横丁・無量寺（がん封じ寺）・蒲郡海鮮市場・八丁味噌の郷
3 月 9 日	多世代交流事業 “みんなで楽しく つながろう！”	第 1 児童 センター	56 人	第 1 児童センターのリコーダークラブの演奏後、参加者全員でレクリエーション（タオルを使ってボール送り）と壁面作り（虹）を行った。地域の自治会・民生児童委員・児童センター利用児・身障協会会員・ふれあいの里陶芸同好会会員・かがやき利用者が参加

② 同好会活動等

(人)

	同 好 会 名	活 動 日	時 間	会 員 数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	10:00 ～ 15:00	21
		② 毎週水・土曜日	10:00 ～ 15:00	26
2	え～やろ仲良会	① 第 2・4 月曜日	10:00 ～ 12:00	21
		② 第 1・3 月曜日	10:00 ～ 12:00	20
3	書道悠墨会	第 2・4 火曜日	10:00 ～ 12:00	15

4	革工芸同好会	月 2 回 木曜日	12:00 ～ 15:00	4
5	健康体操	A 第 1・3 木曜日	14:10 ～ 15:40	20
		B 第 2・4 木曜日	14:10 ～ 15:40	16
		C 第 1・3 木曜日	13:00 ～ 14:00	19
6	パソコン同好会	① 第 1・3 水曜日	10:00 ～ 12:00	3
		② 第 2・4 木曜日	10:00 ～ 12:00	8
7	いきいきふれあいの会	毎 週 火曜日	13:30 ～ 15:00	17
8	太極拳同好会	毎 週 金曜日	13:00 ～ 15:00	11
9	パソコン撫子会	月 2 回 火・木曜日	10:00 ～ 12:00	7
10	パソコン 4 4 会	月 2 回 火曜日	10:00 ～ 12:00	8

③ その他の利用団体

(人)

	団 体 名	活 動 日	時 間	会 員 数
1	46 期パソコン科OB	月 2 回 水曜日	10:30 ～ 12:30	10
2	パソコンあじさい	月 2 回 木曜日	10:00 ～ 12:00	9
3	48 期パソコン科OB	月 2 回 火曜日	9:30 ～ 11:30	8
4	49 期パソコン科OB	月 2 回 金曜日	10:00 ～ 12:00	8
5	50 期パソコン科OB	月 2 回 金曜日	13:30 ～ 15:30	8

(4) 利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	つどい場		単発事業 短期事業	同好会	健康体操 A	個人・団体	介護予防	カレッジ いきいき	手芸 ボランティア	計
		参加者	ボランティア								
4	75	51	29	0	383	92	70	10	0	0	710
5	69	59	38	0	365	90	107	0	34	0	762
6	61	37	21	0	363	91	96	0	136	0	805
7	49	40	28	0	395	79	67	0	120	19	797
8	60	41	27	0	275	105	39	0	0	9	556
9	51	36	22	260	330	80	144	0	140	21	1,084
10	60	65	33	0	335	86	58	0	131	11	779
11	64	42	31	28	390	137	119	56	106	15	988

12	57	54	29	0	313	92	204	27	0	11	787
1	51	56	29	73	360	79	88	9	0	12	757
2	56	56	25	0	378	93	63	0	0	13	684
3	59	63	36	56	362	63	68	11	0	15	733
合計	712	600	348	417	4,249	1087	1,123	113	667	126	9,442

(5) 年齢別利用証交付状況

(人)

年齢 性別	60～ 64 才	65～ 69 才	70～ 74 才	75～ 79 才	80～ 84 才	85～ 89 才	合 計
男	1	5	22	23	12	1	64
女	9	60	92	54	18	8	241
合 計	10	65	114	77	30	9	305

(6) 地区別利用証交付状況

(人)

地区 性別	鳥飼北	鳥飼南	味 生	味 舌	千里丘	合 計
男	21	17	16	4	6	64
女	122	77	20	9	13	241
合 計	143	94	36	13	19	305

(7) 身体障害者手帳等級別利用状況

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
男	1	1	2	2	0	0	6
女	5	2	3	4	0	1	15
合 計	6	3	5	6	0	1	21

(8) 各種会議

1. 施設連絡会議 (月 2 回)
2. 法人事実行委員会 (随時)
3. ふれあいの里内防災担当者会議 (随時)
4. 職員会議 (随時)

(9) 災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。

実施日	参加者	実施内容
7月10日	28名	通報・避難・消火訓練をふれあいの里内施設合同で行った。 (市消防立ち会い)
11月27日	28名	
3月11日	14名	震災訓練を実施 身を守る行動・出口の確保等の確認

(10) 職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

研修日	研修名	出席者
7月18日	法人内研修 「セクハラ・パワハラのない職場環境づくりのために」	職員2名
10月30日 2月21日	摂津市人権協会 ヒューマンセミナー 「高齢者をめぐるまなざし」「認知症支援と地域包括ケア」	職員1名
11月28日	法人内研修 「働き方改革関連法の概要について」	職員1名
2月26日 2月28日	摂津市高齢介護課主催 つどい場事業人材育成フォローアップ講座	全職員
3月6日	摂津市高齢介護課主催 介護予防講座 「健康寿命アップ 生活改善でフレイルを予防しよう！」	職員1名
3月15日	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会主催 「地震・台風被害から見てきたこと」他	職員1名

(11) 大阪北部地震及び台風による被害

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震では、休館とした。また、非常口の地盤沈下、非常誘導灯破損等、建物内外に被害が発生した。

平成30年9月4日の台風21号では、暴風の影響で、陶芸室出入口ドアのガラスのひび割れ、網戸や換気扇が外れる等の被害が発生した。

6 摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」

(1) 概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科で、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練を実施したが実務作業科の訓練生が10月末日で体調不良のため1名、OA実務科では平成30年10月生で初めて定員割れがあり、4名でスタートしたが12月末に体調不良で1名退校、3月末で就職退校1名があった。

また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得コース」は、平成30年度より2か月から3か月の訓練期間の変更、実施回数も3回から2回の変更となり、それぞれ1名の受講があり1名が就職した。

職業訓練では訓練生の適性と能力の把握に努め、6月の障害者技能競技（アビリンピック）大会は大阪北部地震の影響で8月に変更となり、製品パッキング部門では大阪府知事賞を受賞し、11月の沖縄県で開催された全国大会に出場した。その他の出場者も優秀な成績を収め、訓練生の就労に対する意識を高めその後の就職活動につなげた。また、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで、企業の絞り込みを行いながら応募した。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、支援学校や専修学校等へのPRの強化を図った。

(2) 職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページ、電子会計を中心に訓練を実施した。また企業から求められるプレゼンテーション等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、施設内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた訓練を実施した。また、清掃技術向上のために、敷地内にある福祉センターの清掃を行い、清掃技術だけではなくコミュニケーション能力向上を図った。

平成30年10月よりOA実務科、実務作業科の訓練生が合同で郵便物の仕分け、封入、ピッキング、パソコンのデータ入力等を行い、事務補助の就労をめざす訓練を試行的に実施した。

① 行 事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4 月 5 日	入 校 式	せつつくすのき	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 9 名	入校生 実務作業科 35 期生 10 名 〇 A 実務科 47 期生 5 名
5 月 24 日	就職相談	せつつくすのき	〇 A 実務科 5 名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
5 月 14 日 ～31 日	保護者等懇談	〃	実務作業科 10 名	保護者の参観、懇談
6 月 12 日	企業見学会	株式会社ダイキン サンライズ 摂津	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 10 名	就職活動として障害者 雇用事業所を見学する
6 月 14 日		株式会社エルアイ 武田	実務作業科 9 名	
8 月 8 日		株式会社スミセイ ハーモニー	〇 A 実務科 8 名	
7 月 7 日 8 月 5 日	アビリンピック おおさか	ポリテクセンター 関西	実務作業科 9 名 〇 A 実務科 2 名	競技課題を通じて実務 面での応用力を養う 製品パッキング 金賞 2 名、銀賞 1 名 ビルクリーニング 銀賞 1 名、銅賞 1 名 データ入力 銀賞 1 名、銅賞 1 名 オフィスアシスタント 銅賞 2 名 ワードプロセッサ 銅賞 2 名
7 月 25 日	スマホ・携帯 安全教室	せつつくすのき	実務作業科 9 名 〇 A 実務科 10 名	KDDI 協力のもと、適正 な使用の啓発
9 月 28 日	修了式	〃	〃	修了生 〇 A 実務科 46 期生 5 名
10 月 5 日	入校式	〃	実務作業科 9 名 〇 A 実務科 9 名	入校生 〇 A 実務科 48 期生 4 名
10 月 25 日	就職相談	〃	実務作業科 9 名 〇 A 実務科 3 名 保護者 9 名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談

10月27日	運 動 会	せつつくすのき	実務作業科 9名 OA実務科 9名 OB・OG 10名	雨天中止の為、施設内でミニ運動会を実施
2月3日	摂津ふれあい マラソン	淀川河川公園 鳥飼下地区	実務作業科 9名	実務作業科の体育の一環として出場
3月27日	修了式	せつつくすのき	実務作業科 9名 OA実務科 7名	修了生 実務作業科35期生 9名 OA実務科47期生 5名

② 採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。

※障がい者合同面接会

実施日	名 称	場 所	参加者
9月1日	うめだ障害者就職面接会	ハローワーク梅田 &大阪東	OA実務科
9月7日	摂津市障害者合同面接会	摂津市立コミュニティプラザ	〃
9月26日	面接対策セミナー	エルおおさか	OA実務科 実務作業科
10月3日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〃
11月22日	茨木市障がい者就労支援フェア	茨木市役所	OA実務科
〃	大阪障害者職業能力開発校面接会	大阪障害者職業能力開発校	〃
1月22日	面接対策セミナー	エルおおさか	OA実務科
2月8日	障がい者就職応援フェア	吹田市勤労者会館	〃
2月27日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〃

③ 就職状況

平成30年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

OA実務科 第46期生 3名

事業所名	所在地
(株)マナビインテリアハーツ	川西市
水谷ペイント(株)	大阪市

OA実務科 第47期生 5名

事業所名	所在地
石黒メディカルシステム(株)	京都市
日本自動車連盟関西支部	茨木市

(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市
----------------	-----

学校法人大阪医科薬科大学	高槻市
西日本高速道路ファシリティーズ(株)	茨木市

実務作業科 第34期生 9名

事業所名	所在地
(株)JR西日本あいウィル	尼崎市
	吹田市
(株)あしすと阪急阪神	大阪市
日東ひまわり茨木(株)	茨木市

事業所名	所在地
(株)カネカ大阪工場	摂津市
(株)コンテック	大阪市
阪神ロジテム(株)	高槻市

④ 家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力していただくため、次のように随時懇談を実施して連携を深めた。

実施月日	科目名	懇談内容
4月6日	実務作業科	支援学校引き継ぎ
5月8日	〃	支援機関面談
5月14日	〃	支援機関面談
5月14日～31日	〃	訓練参観、訓練状況について
6月12日	OA実務科	保護者面談
6月15、21日	実務作業科	職業センター 重度判定
8月9日	〃	保護者面談
9月19日	〃	支援機関面談
9月25日	〃	保護者面談
10月25日	〃	各職業安定所就職相談会
10月31日	〃	支援機関面談
1月28日	〃	保護者面談

(3) 健康管理

インフルエンザ及び食中毒・感染症予防対策としては、マスクや手洗い消毒液を購入して対応し、訓練生や家族に対して、注意文書の配布や掲示等により、予防啓発に努めた。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場 所
9 月 25 日	身体計測、血圧、 聴力、視力、	実務作業科 35 期生 9 名 O A 実務科 47 期生 5 名	せつつくすのき
3 月 12 日	尿検査、胸部レントゲン	O A 実務科 48 期生 2 名	大阪府結核予防会

(4) 訓練生の状況

① 手帳の所持者

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	4	3	7
女	0	1	3	4
合計	0	5	6	11

※女性の内 1 名は、身体障害者手帳も所持 (O A 実務科に所属)

(身体障害者手帳)

(人)

級 性別	1	2	3	4	5	合計
男	7	3	0	0	0	10
女	0	1	0	1	2	4
合計	7	4	0	1	2	14

② 通校状況

(人)

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在 籍 者 数	O A実務科	46 期生	5	5	5	5	5	5	/	/	/	/	/	/	30
		47 期生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		48 期生	/	/	/	/	/	/	4	4	4	3	3	3	21
	実務作業科	35 期生	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	115
	合 計		20	20	20	20	20	20	19	18	18	17	17	17	226
訓 練 日 数			17	21	20	21	17	17	19	21	16	18	18	17	222

③ 地域別

(人)

	O A 実 務 科			実務作業科	合 計
	46 期生	47 期生	48 期生	35 期生	
摂津市	0	1	0	2	3
高槻市	1	2	2	1	6
茨木市	1	0	1	3	5
豊中市	1	0	0	1	2
枚方市	0	0	1	1	2
吹田市	0	2	0	0	2
池田市	1	0	0	0	1
島本町	0	0	0	1	1
寝屋川市	0	0	0	1	1
豊能町	1	0	0	0	1
合 計	5	5	4	10	24

④ 年齢別（入校時）

(人)

年 齢		15～19 才	20～29 才	30～39 才	40～49 才	50～59 才	合 計
O A 実務科	男	1	1	1	2	5	10
	女	0	2	0	1	1	4
実務作業科	男	3	2	0	1	0	6
	女	2	2	0	0	0	4
合 計	男	4	3	1	3	5	16
	女	2	4	0	1	1	8

⑤ 入校斡旋職業安定所

(人)

		茨木	枚方	淀川	池田	合計
O A 実務科	46 期生	2	0	0	3	5
	47 期生	3	0	1	1	5
	48 期生	3	1	0	0	4
実務作業科	35 期生	7	2	0	1	10
合計		15	3	1	5	24

⑥ 通校の方法

(人)

方 法			電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
〇 A実務科	46 期生	男	2	0	0	0	0	2
		女	3	0	0	0	0	3
	47 期生	男	1	3	1	0	0	5
		女	0	0	0	0	0	0
	48 期生	男	1	1	1	0	0	3
		女	0	1	0	0	0	1
実務作業科	35 期生	男	3	3	0	0	0	6
		女	1	3	0	0	0	4
合 計		男	7	7	2	0	0	16
		女	4	4	0	0	0	8

(5) 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得コース）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	平成 30 年 6 月 1 日 ～ 8 月 31 日	平成 30 年 10 月 1 日 ～ 12 月 25 日
定 員	年間 4 名	
受講者	1 名	1 名

就職先

事業所名	所在地
藍野花園病院	茨木市

受講者の状況

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	0	0	0
女	0	0	2	2
合計	0	0	2	2

(地 域 別)

(人)

摂津市	高槻市	合 計
1	1	2

(6) 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会 (月 2 回) 2. ケース会議 (随時) 3. カリキュラム会議 (随時)
4. 各行事会議 (随時) 5. 法人行事実行委員会 (随時)

(7) 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。 (人)

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
7 月 10 日	火 災	総合消防訓練	訓練生 17 職員 7
11 月 27 日	火 災	総合消防訓練	訓練生 16 職員 7
3 月 11 日	地 震	震災避難訓練	訓練生 11 職員 5

(8) 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5 月 24 日	L G B T も働きやすい職場づくり	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人企連	施設長
7 月 5 日	大阪府障害者訓練担当施設長会議	大阪障害者職業能力開発校	大阪府	〃
7 月 9 日	安全運転管理者講習会	摂津市民文化ホール	大阪府公安委員会	〃
8 月 20 日	簿記指導者セミナー	関西経理専門学校	日本商工会議所	指導員
8 月 21 日	I T 指導者セミナー	関西経理専門学校	日本商工会議所	指導員
9 月 21 日	能力開発施設連絡会	大阪市職業リハビリテーションセンター	就業支援ネットワーク	施設長

10月16日	職業訓練サービス ガイドライン研修	大阪府社会福祉 会館	厚生労働省	指導員
11月19日	接遇講習会	新大阪丸ビル	福利厚生センタ ー	〃
1月7日	日商プログラミング検定 の創設について	関西経理専門学 校	日本商工会議所	〃
1月21日	指導とパワハラの境界線	八尾商工会議所	八尾市人企連	〃
1月24日	ふれあい学習会	(株)JR西日本 あいウィル	摂津市人企連	〃
1月27日	夢と絆～命以外のすべて 奪われた～	摂津市立コミュ ニティプラザ	摂津市人企連	施設長
1月30日	従業員の離職予防のため に職場内のハラスメント が招くもの	エル大阪	大阪府	施設長 代理
2月8日	日商指導者セミナー (3級受験指導)	関西経理専門 学校	日本商工会議所	指導員
2月19日	チャレンジド就労推進講 演会	尼崎なでしこホ ール	就業支援ネット ワーク	施設長 代理
3月6日	大阪府障害者訓練担当施 設長会議	大阪障害者職業 能力開発校	大阪府	施設長

(9) その他： 検定試験合格者

(人)

実施月日	検定名	科目名	合格者
6月15日	日本商工会議所 簿記初級	OA実務科	4
6月25日	日本商工会議所 簿記初級	〃	1
7月17日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	1
8月2日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級	〃	4
8月3日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級		1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級		1
8月9日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	2
	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成) 3級		1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級		1
8月27日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	4
8月30日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	1
9月14日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成) 3級	OA実務科	4

9月18日	日本商工会議所 P C 検定（文書作成）2 級	〃	1
9月20日	日本商工会議所 P C 検定（プレゼン資料作成） 3 級	〃	5
9月26日	日本商工会議所 P C 検定（データ活用）2 級	〃	2
11月2日	日本商工会議所 P C 検定（データ活用）2 級	〃	1
11月15日	日本商工会議所 P C 検定（文書作成）2 級	〃	1
11月18日	日本商工会議所 簿記3 級	〃	1
12月7日	日本商工会議所 P C 検定（データ活用）2 級	〃	2
12月14日	日本商工会議所 簿記初級	〃	2
12月17日	日本商工会議所 P C 検定（文書作成）2 級	〃	2
1月15日	日本商工会議所 P C 検定（データ活用）2 級	〃	1
2月4日	日本商工会議所 P C 検定（文書作成）2 級	〃	1
2月22日	日本商工会議所 P C 検定（プレゼン資料作成） 2 級	〃	2
3月1日	日本商工会議所 P C 検定（プレゼン資料作成） 2 級	〃	1
3月19日	電子会計実務検定 3 級	〃	3
3月26日	日本商工会議所 P C 検定（プレゼン資料作成） 2 級	〃	1

（１０）訓練生の募集活動・施設のＰＲ活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対するＰＲ活動に努めた。

実施月日	ＰＲ事業	主 催	内 容
6月8日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪府 摂津市	大阪北部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
7月2日		大阪府	大阪南部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
8月1日			障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
11月9日			
7月5日	ハローワーク職員向け障がい者職業訓練説明会	〃	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施
10月29日			

【応募生職業評価選考試験】

平成30年10月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	対 象 者
8月24日	OA実務科	5	1	1	身体障がい者
9月20日		4	3	3	

平成30年4月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	対 象 者
12月6日	実務作業科	10	4	4	知的障がい者
3月5日		6	11	6	
2月18日	OA実務科	5	7	4	身体障がい者
3月19日		1	3	1	

(11) アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

(12) 大阪北部地震及び台風による被害

平成30年6月18日午前7時58分に発生した大阪北部地震は、訓練生の通校時間と重なり、約10名の訓練生はすでに登校しており、残りの訓練生は当センター付近までの公共交通機関または、自家用車の中であった。大きな揺れがあり建物の壁(石膏ボード)の継ぎ目に亀裂、天井埋め込み型のエアコンのずれ、建物周囲の犬走りと側溝との間に隙間が空いたものの大きな被害はなく、後日摂津市の建築課による建物検査の結果、安全に問題はないと判断された。

平成30年9月4日の台風21号は、大阪府直撃の進路となり、暴風の影響で当センターが建設された時に植栽されていた桜の太木2本が建物と反対側に倒れた。また、訓練室の1室の天井が風による影響から固定していたボルトの一部が外れ落下しかけたが、翌日からの訓練には大きな影響はなく通常とおり訓練を行った。

地震及び台風の関係により、予め定めていた緊急措置によりそれぞれ1日臨時休校の措置を取った。

7 摂津市立第1児童センター

(1) 概況

平成30年度は児童センターの設立30周年という節目であった。4月の児一センまつりでは記念式典を行い、30周年を広く内外に周知した。こどもバザーやランチタイムの実施、ブラジルの格闘技と音楽や踊りを組み合わせたカポエイラ体験会の招聘、福祉センターの手芸ボランティアの方によるストラップづくりの実施などこども達に新たな体験ができる環境を用意した。一中校区地域連携事業では摂津市立第一中学校吹奏楽部とリコーダークラブ合同演奏会を行った。また第一中学校の3年生家庭科の授業で行われた乳幼児とのふれあい体験には児童センター乳幼児プログラムに登録されている乳幼児親子の派遣をコーディネートした。

移動児童館事業では別府のコミュニティセンターで乳幼児親子向けに定例実施し毎回参加される利用者ができるなど定着した。多世代交流事業でも身体障害者・老人福祉センターと協働して児童センターで実施した。自治会、民生児童委員の方々の参加もありこども、障がい者、高齢者が楽しい時間を共有できた。

従来からのクラブ活動、教室活動、行事においていずれも定員を超えての申込みがあり盛況であった。日常の自由来館では乳幼児親子から学童児まで平均して多くの利用があった。利用者に対するこれらの事業の情報発信は従来のセンターニュースやチラシ、ポスターに加えてホームページやフェイスブック、インスタグラムといったSNSを頻回に活用し事業のPRと様子を伝えた。災害の被害状況は6月の大阪北部地震では遊戯室の天井からコンクリート片が落下した。9月の台風21号では外部の掲示板が倒れて破損、屋根の笠木、風見鶏が損傷した。いずれも人的被害はなく一部の使用制限をして修繕対応を図った。

(2) 利用について

① 利用対象

- ・保護者が同伴する乳幼児
- ・小学生
- ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
- ・その他指定管理者が適当と認める者

② 利用手続（入館は無料）

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は、「特別使用許可書」の交付を受ける。

③ 開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで（5月から8月末は午後6時15分）

④ 休館日

・ 日曜日 ・ 国民の祝日 ・ 12月29日から1月3日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

実施日	行事名	定員	参加者	内 容
4月21日	30周年記念式典・ 児一センまつり 30	—	1,680	開設30周年をお祝いする。 模擬店、ゲーム、クラフト等を行 う。全市に児童センターのP Rを行う。
5月18日	新1年生歓迎会	—	33	新1年生にこどもスタッフが 児童センターの約束を教え、来 館者全員でドッチボール・学年 別大なわとび大会を行う。
6月23日	じゃがいも収穫祭	30	29	児童センターの畑で収穫した じゃがいもをみんなで食べ収 穫を祝う。
7月15日 ～16日	児一センツアー '18	20	20	1泊2日で川遊び、野外炊飯、 キャンプファイヤー (大森リゾートキャンプ場)
7月21日	夏まつり	—	137	駄菓子屋・こどもバザー 大阪人間科学大学こども保育 学科による昔あそび。
	平和月間事業	—	87	市平和月間事業としてこども 達が平和の願いを書いて幸せ の貯金箱づくりをする。
8月22日 ～23日	サロン de シャベ ロン	—	126	こどもスタッフによる喫茶コ ーナー
8月24日	すこやかネット	—	209	摂津第一中学校吹奏楽部とリ コーダークラブによる演奏会 一中校区地域教育協議会事業
8月31日	乳幼児サマー ランド	—	114	乳幼児対象イベント 水遊び、 ゲームコーナー、サーキットコ ーナーなど

9月22日	お月見	50	56	天体観測、お月見団子づくりなど伝統行事を経験する。 (地区民生児童委員協力)
10月22日	謎解きゲーム	—	29	こどもスタッフの発案による謎解きゲーム
12月8日	クリスマス会 1部 2部	— 70	250 70	リコーダー、ミュージックベル、ダンス、バンド演奏、クリスマスティーパーティー
12月15日	もちつき	90	144	もちつき大会 (地区民生児童委員協力)
1月4日	書初めの日	—	32	新年の伝統行事 館内掲示をする
2月23日	みしま三丁目劇場	—	121	リコーダー・マジックショー・けん玉・バンド演奏 鑑賞行事
3月8日	乳幼児ランド	—	162	乳幼児対象イベント 消防自動車見学、ゲームコーナー、サーキットコーナーなど
3月18日	もしかめグランプリ	—	125	けん玉のもしかめ大会
3月22日	児一セン杯争奪けん玉道選手権大会	—	208	市内小学生のけん玉大会 練習成果の発表の場
3月23日	卓球大会	—	15	市内小学生の卓球大会 練習成果の発表の場
3月28日 ～29日	お別れサロン	—	175	こどもスタッフによる喫茶コーナー
3月30日	お別れドッチボール大会&ぜんざい	—	47	6年生送別ドッチボール大会後、ぜんざいを食べる。 (地区民生児童委員協力)

・定例行事活動

登録制の親子プログラムである「P u k u²」「M u k u²」「ひよこちゃんよっといで」やけん玉認定会等を定期的の実施した。

行事名	実施回数	延参加者数
P u k u M u k u 6ヶ月～2歳児	30回	605
ひよこちゃんよっといで3歳児～	32回	717

トランポリンの日	11 回	929
けん玉認定会(移動児童館含む)	9 回	348

② 教室活動

職員指導による各種クラフト教室、専門講師を招いた各種教室などを開催した。

実施日	教室名	定員	参加者	実施の内容
5 月 12 日	母の日プレゼント作り	20	23	革のアクセサリ作り 講師 1 名
6 月 16 日	父の日プレゼント作り	20	20	革のトレイ作り 講師 1 名
7 月 23 日	工作くん① 「ヤックン」	15	15	老人福祉センターで粘土クラフト（交流事業）
8 月 4 日	工作くん② 「コークン」	20	20	木製のコースターづくり 木工クラフト
11 月 17 日	クリスマスクラフト	20	20	クリスマスのリース作り
12 月 22 日	しめ縄作り	—	14	しめ縄リースづくり 講師 1 名
2 月 2 日	節 分	—	32	まめまき・節分ゲーム大会
2 月 9 日	チョコレート作り	24	24	バレンタインのチョコレート作り

③ クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、継続指導を行った。また、幼児親子対象のおもしろくらぶでは大阪人間科学大学子ども保育学科と連携して実施した。

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	参加者数 (延べ)
けん玉クラブ(前期)	4 月 5 日 ～ 9 月 27 日 木曜日 21 回	19	334
〃 (後期)	10 月 4 日 ～ 3 月 22 日 木曜日 22 回	20	405
卓球クラブ (前期)	4 月 6 日 ～ 9 月 28 日 金曜日 22 回	15	285
〃 (後期)	10 月 5 日 ～ 3 月 23 日 金曜日 20 回	15	252
リコーダークラブ (前期)	4 月 1 日 ～ 9 月 30 日 土曜日 20 回	14	256
〃 (後期)	10 月 6 日 ～ 3 月 30 日 土曜日 22 回	15	307
クリスマスキッズ	10 月 3 日 ～12 月 22 日 計 18 回	16	267

おもしろくらぶⅠ期	5月17日～7月5日 木曜日8回	40	335
〃 Ⅱ期	10月4日～11月22日 木曜日8回	40	334
こどもスタッフ(前期)	3月3日～9月29日 計28回	16	364
〃 (後期)	10月6日～3月31日 計21回	20	297

④ 各種大会参加

クラブ活動の成果としての発表会や対外試合等に参加した。(人)

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
5月13日	摂津市こどもフェスティバル2018	雨天中止	けん玉クラブ	大正川河川敷
6月9日	千里丘公民館まつり	13	リコーダークラブ	千里丘公民館
6月10日	文部科学大臣杯けん玉道選手権大会(南関西予選会)	12	けん玉クラブ有段者	大阪市立住吉小学校
9月15日	福祉センターまつり	14	リコーダークラブ	身体障害者老人福祉センター
9月15日	卓球クラブ交流試合①	35	卓球クラブ	第1児童センター
3月9日	多世代交流事業	56	リコーダークラブ	第1児童センター
3月16日	リコーダー体験教室	20	リコーダークラブ	第1児童センター
3月16日	卓球クラブ交流試合②	27	卓球クラブ	西京極児童館

(4) 使用状況 (人)

月	個人使用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	3,871 (2,108)	13	3,884	24	162
5	2,009 (682)	84	2,093	24	87
6	2,078 (707)	57	2,135	24	89
7	2,148 (714)	54	2,202	25	88

8	2,818 (804)	47	2,865	26	108
9	1,766 (763)	52	1,818	22	83
10	2,250 (941)	86	2,336	26	90
11	2,157 (795)	55	2,212	24	92
12	1,890 (442)	44	1,934	23	84
1	1,466 (737)	76	1,542	23	64
2	1,677 (705)	76	1,753	23	76
3	2,587 (1,202)	36	2,623	25	105
計	26,707 (10,600)	680	27,397	289	94

※ () は主催事業参加者

※ 特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

(5) 年齢別使用証交付状況

(人)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	累 計
4	42	100	70	49	55	82	73	87	558	558
5	25	35	13	9	27	19	28	14	170	728
6	11	30	8	14	25	13	15	16	132	860
7	10	26	9	3	16	15	14	7	100	960
8	16	25	12	16	19	10	13	8	119	1,079
9	13	26	7	6	10	4	4	3	73	1,152
10	12	16	3	6	6	4	3	8	58	1,210
11	32	9	7	7	3	3	1	7	69	1,279
12	7	10	7	2	2	2	2	1	33	1,312
1	17	10	2	0	3	2	1	1	36	1,348
2	9	10	8	3	4	2	1	6	43	1,391
3	11	11	6	5	4	5	3	8	53	1,444
合計	205	308	152	120	174	161	158	166	1,444	

(6) 学校別使用証交付状況

(人)

月	摂津	味舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	275	61	56	24	416	416
5	72	23	11	4	110	526
6	56	12	9	14	91	617
7	26	15	15	8	64	681
8	27	16	23	12	78	759
9	14	9	3	8	34	793
10	13	2	8	7	30	823
11	11	8	7	2	28	851
12	7	3	3	3	16	867
1	5	1	0	3	9	876
2	12	6	2	4	24	900
3	8	8	7	8	31	931
合計	526	164	144	97	931	

(7) ボランティア受け入れ状況

児童センターを利用したOB・OGの中・高校生, 大学生, 社会人のボランティア, 親子プログラムのOGである母親ボランティア, 地域のボランティアとして民生児童委員等、様々なボランティアを受け入れた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	10	8	10	9	7	8	10	11	11	5	10	10	109
行事・日常ボランティア活動者数	62	47	34	58	11	19	66	126	62	14	24	19	542

(8) 避難訓練実施状況

全来館者を対象にして火災、地震想定避難誘導消火訓練を実施した。
年間延参加者数は71名であった。(その他の避難誘導訓練は以下の通り)

実施日	参加者数	実施内容
3月8日	156	乳幼児ランドで幼児親子を対象に火災を想定して避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学を実施。

(9) 個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。

虐待やいじめを受けているなどの疑われる児童については、来館時に受付にて様子を見て声かけを行った。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からアプローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

(10) 職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研 修 日	研 修 名	開催場所	主 催	職 種	備 考
6 月 29 日	ボランティア募集のための入門講座	大阪市	大阪ボランティア協会	児童 厚生員	
7 月 18 日	セクハラ・パワハラのない職場環境づくりのために	摂津市	法人内研修	〃	
7 月 26 日	トリプル P 障がいのある子どものための前向き子育て支援セミナー	摂津市	pamopja	〃	
9 月 12 日	職場のハラスメント防止についての基本理解と留意事項	摂津市	法人内研修	〃	
9 月 11 日 ～14 日	児童厚生員等 基礎研修会	大阪市	財団法人 児童健全育成 推進財団	〃	児童厚生員 2 級資格
10 月 19 日	大阪府児童厚生員等 研修会	大阪市	大阪府立 大型児童館 ビッグバン	〃	[安全指導・安全管理]
10 月 29 日					[児童発達理論]
11 月 7 日		堺市			[表現活動]
					[ゲーム・運動遊び]
11 月 28 日	働き方改革関連法の概要について	摂津市	法人内研修	施設長	

12月14日・ 1月25日	防犯訓練	摂津市	法人内研修	全職員	
3月 5日	改正児童館ガイドラ イン説明会	京都市	財団法人 児童健全育成 推進財団	〃	
3月14・15 日	働き方改革について	摂津市	法人内研修	全職員	

(11) 運営委員会について

	実 施 日	参加者数	内 容
第1回	8月20日	9	委嘱状交付、事業報告、決算概要報告 近況報告、質疑応答
第2回	3月13日	9	事業計画、予算概要説明 近況報告、質疑応答

(12) 大阪北部地震及び台風による被害

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震では、利用者の安全のため、2日間臨時休館とした。また、遊戯室天井にひび割れが発生したため、修理が完了した6月27日までは、遊戯室の使用を中止した。

平成30年9月4日の台風21号では、暴風の影響で、掲示板の破損等の被害が発生した。

8 摂津市障害者総合支援センター

I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

(1) 概況

平成30年度は、相談支援部門における事業については、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

(2) 事業の状況

① 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成を365名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される。

（障害者相談支援事業）相談の内訳と件数

（人）

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	957	53	499	439	17	201	170	185	93	28	68	321	3031

(主催事業)

余暇支援の一環として、法人運動会や風船バレーボール大会への参加呼びかけを行い、摂津市から委託を受け、エアロビクスダンス教室を主催した。(市民グループもスタッフとして参加)

	日 付	行 事 名	参加 人数	内 容	場 所
1	10 月 27 日	摂津宥和会運動会	—	雨天中止	市立三宅柳田小学校
2	12 月 9 日	摂津市風船バレーボール大会	11	ウィングでのチーム参加	市立味舌小学校
3	2 月 24 日	エアロビクスダンス教室	15	エアロビクスダンス	市立安威川公民館

③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、対象者（支給決定者）はなかった。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者（支給決定者）はなかった。

④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、障がい者支援施設での長期入所者や精神科病院での長期入院者の地域移行の推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

- | | |
|---|---------|
| 1) 市自立支援協議会実務担当者会議
(事務局会議・相談支援部会、障害児相談連絡会) | 年 1 9 回 |
| 2) 摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議 | 年 1 回 |
| 3) 各支援学校主催会議や進路支援等 | 年 1 4 回 |
| 4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整 | 年 2 9 回 |

5) 介護給付費等支給審査会	年 6回
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年10回
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年82回
8) 成年後見利用支援	年 0回
9) その他（研修講師、研修受講、市民団体への助言など）	年10回
	合計171回

⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築（地域自立支援協会等）に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

1) アドバイザー報告連絡調整会議等	年 7回
2) 市町村地域自立支援協議会連絡会議	年 1回
3) 大阪府障がい者自立支援協議会委員参加	年 2回
4) 市町村へのアドバイザー派遣	年19回
	合計 29回

⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、139件の認定調査を実施した。

⑦ 陽だまりと会議室（貸室）の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示（一部は販売）と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所、機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者に作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は12団体で平成30年度利用実績回数は41回。

（3）研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

	日付	内容	場所	主催	参加者
1	4月3日	着任時研修	摂津市障害者 総合支援セン ター	内部研修	相談員1名
2	5月15日	平成30年度第1回 障がい支援区分認 定調査員研修	赤十字会館	大阪府福祉部 障がい福祉室	相談員1名
3	7月18日	セクハラ・パワハ ラの無い職場環境 づくりのために	摂津市立みき の路	法人内部研修	管理者1名 相談支援専門員 2名
4	7月19日	平成30年度第1回 ケアマネージャー 勉強会 「高齢障がい者の 自立支援に向けた 援助について」	摂津市立地域 福祉活動支援 センター	摂津市地域包 括支援センタ ー	管理者1名 相談支援専門員 3名
5	8月2日 10月4日 12月6日	発達障がい者の地 域支援を考える会 ～ルーキーのため の3回連続講座～	大阪府産業創 造館	大阪府発達障 がい者支援セ ンターアクト おおさか	相談支援専門員 1名
6	9月12日	職場のハラスメン ト防止についての 基本理解と留意事 項	摂津市立みき の路	法人内部研修	管理者1名 相談支援専門員 1名
7	7月12日 7月13日 8月27日 8月28日 9月14日	平成30年度大阪府 相談支援従事者初 任者研修	国際障害者交 流センタ ービッグ・アイ	社会福祉法人 大阪府障害者 福祉事業団	相談員1名
8	10月2日 1月25日	平成30年度大阪府 相談支援従事者専 門コース別研修 医療的ケアコース	愛仁会リハビ リテーション 病院 大阪私学会館	大阪府障がい 者自立相談支 援センター	相談支援専門員 1名
9	11月2日 11月21日 11月22日	平成30年度大阪府 相談支援従事者現 任研修	ビッグ・アイ	大阪府障害者 福祉事業団	相談支援専門員 1名

10	11月28日	働き方改革に関する研修会	摂津市立みきの路	法人内部研修	相談支援専門員 1名
11	11月29日	平成30年度第1回機関研修会 「知的障がいの方の性について」	大阪急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	相談支援専門員 1名
12	1月25日	防犯研修	摂津市立みきの路	法人内部研修	相談支援専門員 2名
13	1月28日～ 2月1日	平成30年度主任相談支援専門員養成研修	タイム24ビル	日本社会福祉士会	管理者1名
14	3月18日	障害者虐待の防止について	いきいきプラザ	摂津市障害福祉課	管理者1名 相談支援専門員 2名

Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

(1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は49名で、障がい種別にみると、身体障がい者が6名、知的障がい者が32名、精神障がい者が11名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が25名で茨木市が24名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

また、週1回のケース会議実施や毎月第1土曜日の相談日の実施を継続した。支援の効率性を高めるために実施してきた新規利用者を対象とした集団でのサービス内容説明会であるガイダンスを継続し、就業・生活支援センターの事業説明と支援内容を理解していただいた上でサービス利用を希望される方には個別面談を実施しているが概ね好評である。

就労支援のネットワーク構築については、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校協議会委員の就任をはじめ、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割が大きくなってきている。さらに、支援学校生徒の卒業後の支援が切れ目のないようにしていくために4か所の特別支援学校と2か所の障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議を年に3回実施した。

(2) 就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実施日	行事名	場所	内容
6月12日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	障がい者合同企業面接会
7月11日	摂津支援学校職業相談会	大阪府立摂津支援学校	就職希望の摂津支援学校3年生の利用登録、就業・生活支援センターの事業内容の説明
11月21日	すみでんフレンド在職者・支援者交流会	すみでんフレンド(株)淀屋橋本社	すみでんフレンドに勤務する利用者とその支援者との交流会

2月15日	ジョブリンピック	大阪府立摂津支援学校	ジョブリンピックの審査員
-------	----------	------------	--------------

(3) 利用者の状況

① 地域別相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	200	87	130	9	426
茨木市	378	119	275	25	797
合計	578	206	405	34	1,223

② 新規相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	14	3	15	0	32
茨木市	15	4	24	0	43
合計	29	7	39	0	75

③ 延べ相談件数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	595	86	220	10	911
茨木市	623	140	544	69	1,376
合計	1,218	226	764	79	2,287

④ 市別利用登録者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	139	38	33	4	214
茨木市	290	60	94	10	454
合計	429	98	127	14	668

(4) 就職の状況

① 職場実習

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	13	1	0	0	14

茨木市	12	2	4	0	18
合計	25	3	4	0	32

② 就職者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	20	3	2	0	25
茨木市	13	3	8	0	24
合計	32	6	11	0	49

(5) 職員研修

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実 施 日	研 修 名	主 催	場 所	内 容
5 月 23 日 ～25 日	主任就業支援担当者研修	障害者職業センター	幕張障害者職業センター	障がい者雇用対策の概要と支援センターの役割、主任就業支援担当者の役割 個別支援計画の策定、事業主へのコンサルテーション、スーパービジョン、ケーススタディ
6 月 21 日	精神発達しごとサポーター養成講座	大阪労働局 大阪府	ドーンセンター	障がい者雇用と支援機関との関わりについて
7 月 18 日	ハラスメント講習	摂津宥和会 事務局	みきの路	職場におけるハラスメントについて
8 月 29 日	MSFAS研修	大阪障害者職業センター	大阪障害者職業センター	就労支援におけるアセスメントの実施方法～MSFAS・幕張ワークサンプルの活用

9 月 14 日	障害者雇用支援セミナー	茨木市・茨木公共職業安定所	ハローワーク茨木	障がい者雇用先進企業の実例紹介、大阪障害者職業センターの事業主支援について、障害者就業・生活支援センターについて、精神・発達障害者しごとサポーター養成講座
9 月 27 日	就業支援基礎研修	大阪障害者職業センター	大阪障害者職業センター	精神障がい者の就労支援、企業における精神障害者雇用管理、ケーススタディ
11 月 29 日	第 1 回機関研修会	大阪府障がい者自立相談支援センター	大阪府急性期総合医療センター	知的障がいの方の性について
1 月 16 日	第 2 回機関研修会	大阪府障がい者自立相談支援センター	大阪府急性期総合医療センター	知的障がいと発達障がいを重複する方への就労支援について
2 月 28 日	認知行動療法	とよなか障害者就業・生活支援センター	豊中ホテルアイボリー	障がい者の支援に生かす就業支援従事者のための認知行動療法
3 月 18 日	摂津市障害者虐待防止講演会	摂津市障害福祉課	いきいきプラザ	障がい者虐待防止についての実践例等

(6) 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
大阪障害者就業・生活支援センター連絡会	ハローワークとのテーブルバズセッション 就労定着支援事業との協働について 就業・生活支援センターにおける地域性を生かしたオリジナルな取り組みについて 就労移行支援事業所によるアセスメント技術について	年 4 回
摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	実務担当者（相談支援部会）からの報告、次期障害福祉計画の策定について	年 1 回

大阪障害者就業・生活支援センター連絡会 北摂ブロック ほくほく会	各センターの取り組み状況について ジョブコーチ支援（3回連続講座）プロセス・アセスメント・フェイディング 就労移行支援事業所による定着支援について 就業・生活支援センターと相談支援について	年 4回
平成 30 年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック経験交流会議	定着支援における S S T、グループワークの基礎・課題について基調講演 分科会、意見交換	年 1回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年 6回
摂津就労支援ネットワーク会議	各機関の近況、就労継続A型の状況	年 4回
大阪府立摂津支援学校協議会	今年度の学校経営計画について、各学部の教育課程、今年度の使用教科書について、授業アンケート	年 3回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	支援学校卒業予定生徒の進路状況の報告と事例・課題についての協議	年 5回
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	今年度の事業について、支給決定基準の策定について、災害対策ワーキンググループについて、しょうがい福祉フェスタ振り返り、来年度協議会予定について	年 5回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	各機関からの状況報告、障害者雇用支援セミナー、お仕事見学ツアー、しょうがい福祉フェスタ	年 8回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	昨年度の実績報告、相談支援体制と実施状況について、今年度の自立支援協議会方針、昨年度の協議会取り組み報告と今年度の計画	年 1回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換	年 3回
就労支援関係事業所連絡会議（法人内）	各事業所の近況	年 3回

（7）就業・生活支援センターのPR活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してPR活動に努めた。